

鶴見緑地及び他 11 施設 指定管理業務
事業報告書
(令和 4 年度)

令和 5 年 5 月 提出

鶴見緑地スマイルパートナーズ

目次

- 1 指定管理者の概要
 - 1－1 指定管理者の概要
 - 1－2 組織体制
- 2 指定管理事業の達成状況
 - 2－1 全体計画の達成状況
 - 2－2 成果指標にかかる数値目標の達成状況
- 3 管理運営状況
 - 3－1 施設の開館時間・休館日
 - 3－2 職員の配置状況
 - 3－3 研修実施状況
 - 3－4 社会的責任、市の施策との整合性
 - 3－4－1 個人情報保護の取組み
 - 3－4－2 就職困難者の雇用状況
 - 3－4－3 環境保護対策の取組み
 - 3－5 施設等の維持管理状況
 - 3－5－1 施設の維持管理状況
 - 3－5－2 修繕実施状況
 - 3－6 安全管理・危機管理
 - 3－7 苦情・要望等の対応状況
 - 3－8 事故の対応状況
- 4 事業実施状況
 - 4－1 サービス向上の取組み
 - 4－2 利用促進の取組み
 - 4－3 施設の利用状況
 - 4－3－1 施設の利用状況
 - 4－3－2 利用者満足度の把握と反映状況
 - 4－4 魅力向上事業・自主事業の実施状況
 - 4－4－1 魅力向上事業実施状況
 - 4－4－2 自主事業実施状況
 - 4－5 施設の有効利用
 - 4－5－1 他施設との連携
 - 4－5－2 地域・市民・NPOとの連携
 - 4－5－3 プラットフォームの運営

5 収支状況

5－1 収支内訳

5－2 収支計画からの増減理由

5－3 利用料金収入明細

5－4 管理経費縮減の取組み

6 今年度の総括及び自己評価

7 次年度に向けた課題と目標

8 その他特記事項

9 別紙

1 指定管理者の概要

1-1 指定管理者の概要

(1)施設概要

鶴見緑地（一般園地）、咲くやこの花館、陳列館ホール、水の館ホール、茶室むらさき亭

鶴見緑地馬場（乗馬苑）、鶴見緑地パークゴルフ場、鶴見緑地球技場、鶴見緑地庭球場、鶴見緑地運動場

鶴見スポーツセンター、鶴見緑地プール

(2)指定管理者

団体名称 鶴見緑地スマイルパートナーズ

代表者 大阪市中心区北浜東4番33号
大和リース株式会社
大阪本店 本店長 堀 越 良 一

構成員 大阪市中心区田中三丁目1番40号
一般財団法人大阪スポーツみどり財団
理事長 奥 野 隆 司

大阪市中心区北浜四丁目1番23号
美津濃株式会社
代表取締役社長 水 野 明 人

大阪市中心区北堀江二丁目1番11号久我ビル北館5階
株式会社ウエルネスサプライ
代表取締役 薄 井 修 司

愛知県豊田市勘八町勘八272番地
有限会社エルミオーレ
代表取締役 桑 原 広之進

大阪市中心区天満橋一丁目8番30号
三菱電機ビルソリューションズ株式会社 関西支社
取締役 関西支社長 向 山 達 也

東京都港区赤坂五丁目 1 番33号
大和ライフネクスト株式会社
代表取締役社長 竹林 桂太朗

指定期間 令和 2 年 4 月 1 日～令和 22 年 3 月 31 日（20 年間）
報告対象期間 令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日（令和 4 年度）
担当者 鶴見緑地パークセンター 池田
連絡先 06-6911-8787

1－2 組織体制

鶴見緑地スマイルパートナーズ

団体名	役割
【代表団体】 大和リース(株)大阪本店	公園全体のマネジメント、大阪市との連絡調整、 鶴見緑地（一般園地）の管理運営
【構成員】 (一財) 大阪スポーツみどり財団	咲くやこの花館の管理運営
美津濃(株)	鶴見緑地パークゴルフ場、鶴見緑地球技場、鶴見緑地 庭球場、鶴見緑地運動場、鶴見スポーツセンター、鶴 見緑地プールの管理運営
(株) ウエルネスサプライ	ホール・茶室管理運営、スポーツ施設受付業務 スポーツ教室の運営 等
(有) エルミオーレ	鶴見緑地馬場（乗馬苑）の管理運営
三菱電機ビルソリューションズ(株) 関西支社	電気・機械設備等の維持管理、法定点検
大和ライフネクスト(株)	清掃・警備・設備日常点検

2 指定管理事業の達成状況

2-1 全体計画の達成状況

提案時に掲げたコンセプトにおける SDG s の各項目のうち、令和 4 年度は新型コロナウイルスによる影響は若干緩和されたものの引き続き実施できず令和 5 年度に持ち越しとなった項目があった。

【1. 貧困をなくそう、2. 飢餓をゼロに】

<実施した事業>

提案していた HUBchari を R 2 年度に導入し、園内回遊性の向上を図るとともに、認定 NPO 法人 Homedoor を通じて野宿生活者の自立支援を継続実施している。

HUBchari は認定 NPO 法人 Homedoor が行っている野宿生活者の自立支援を目的とした事業で、野宿生活者にバッテリーの充電や自転車の再配置という業務を担ってもらい、対価を支払うことで自立支援につなげる活動である。野宿生活者の貧困と飢餓をなくすことに繋がる事業であるため、状況を見ながらではあるが今後サポートの拡大も検討したい。

環境事業協会と連携実施しているあわい農園では、令和 3 年度は守口市の子ども食堂を利用する子どもと保護者の方を対象に体験学習施設の一部を活用して野菜等の収穫体験を開催したが、令和 4 年度は鶴見区の子どもの食堂であるつるみのおかんの井戸端食堂との連携も開始し、鶴見緑地フェスタでは収穫した作物を参加者である子どもたちが自分たちで値付け販売するという取り組みを行った。

【3. すべての人に健康と福祉を】

<実施した事業>

R 2 年度にスタートしたアウトドアフィットネス事業により来園者の健康と福祉にアプローチを行っており、鶴見緑地の自然を生かしたパークヨガや満月ヨガ、子どもと参加できるファミリーヨガは引き続き好評を得ている。令和 3 年度に引き続きアーシングや、公園を案内しながらのノルディックウォークなど鶴見緑地の特性を活かした事業展開にも取り組んでおり、代表企業が管理する他公園（泉南ロングパーク等）への遠足イベント等、飽きの来ないプログラム構築に取り組んでいる。

また、英国発祥の運動イベントである「パークラン」を開催しており、令和 4 年 3 月末時点では 1 回あたりの参加者が 100 名を超える規模となっており、鶴見緑地における健康と福祉意識の増進に寄与している。

【4. 質の高い教育をみんなに、6. 安全な水とトイレを世界中に、12. つくる責任使う責任、14. 海の豊かさを守ろう】

<実施した事業>

イベントの付帯として招致しているキッチンカーについて、イベントの特性や参加人数に応じて販売物の種類や数量を調整し、フードロスがゼロとなるよう取り組んだ。

あわい農園で収穫した作物を参加者である子どもたちに自ら値付けをして販売するイベントを行った。子ども食堂を利用する子どもたちは保護者の仕事の多忙さなどから教育的なイベント等に参加しにくい傾向があるが、植え付けから収穫を経て販売までを体験できる取組として注目を集めており、都市循

環・こども食堂支援・はたらく支援の3つを柱とした活動が多方面から賛同を受けている。

【7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに、9. 産業と技術革新の基盤を作ろう】

＜実施した事業＞

ECO 縁日 2022 など、園内での再生可能エネルギーなどの普及啓発事業への広報・調整協力を行った。

実証事業推進チーム大阪（大阪市、大阪府、大阪商工会議所）による脱炭素に資する実証実験の会場として協力した。太陽光発電から直流のまま使用できる冷蔵庫や水と二酸化炭素から精製する合成燃料など興味深い技術実証が行われ、早期実用化に向けての取り組みが話題となった。

【11. 住み続けられるまちづくりを】

＜実施した事業＞

HUBchari やつるモビ等園内回遊のための手段を複数継続して運用している。また、令和5年度初めにはつるモビ座り乗りタイプの運用を開始し、シニアカーの無料貸し出しを目指している。

車いす等の通行の妨げとなっていた園内の不同沈下を解消した。

毎朝のラジオ体操の方々や毎週土曜日のパークラン参加者による清掃活動を促進させ、参加者やそれを見る来園者へのごみに対する啓発となった。

【13. 気候変動に具体的な対策を、15. 陸の豊かさを守ろう】

＜実施した事業＞

咲くやこの花館では以下の生物多様性に関する事業を実施した。

- ・野外で自然と触れ合える機会を増やす取り組みや身近なところで生き物・植物を見つけるイベント
- ・国内外の希少な植物の生息域外保全
- ・ハワイの固有植物の展示およびツアー解説やボルネオ（マレーシア）の熱帯雨林や動物の保護活動、マダガスカルの植物紹介（R3 年度はコロナ感染防止の為、オンラインで開催）
- ・SDGs の観点から天王寺動物園と協力し、サバンナ堆肥を用いた土づくりを行い、また、堆肥のプレゼント配布を行った
- ・バナナの廃材となる葉や茎を利用して織り込んだ「バナナクロス」のティッシュケースを提供してもらい、フラワーツアーで紹介し、参加者へのノベルティとして配布した。
- ・洗剤や食品の袋を使って ミニバッグやアートフレームをつくろうという SDGs 工作イベントを実施した。
- ・大阪市の脱炭素に資する実証実験（太陽光パネル利用の冷蔵ショーケース）に協力した。
- ・経済産業省との「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）」に基づいて任意放棄され、取得した植物寄託された植物の保護育成
- ・ワシントン条約に該当する疑いのある植物の同定などの協力から、税関業績者表彰を受賞した
- ・日本植物園協会の植物多様性保全事業として絶滅危惧種を栽培している

＜実施できず持ち越した事業＞

令和3年度に水質浄化方法の選出を目的とした水槽実験を行ったが、同年に不具合を起こした既存の浄化設備更新が大阪市内部の事情により進捗しておらず、当初事業者で想定していた水質浄化方法及び

予算では対応できないことが分かり計画変更が必要となったため令和５年度に持ち越しとした。

【17. パートナースhipで目標を達成しよう】

<実施した事業>

地域連携やよりよい鶴見緑地を作るためのプラットフォームづくりとして、「鶴見緑地ぷらっとフォーム」を継続して運営した。令和４年度の主な活動としては、新たに設置した遊具広場の愛称を公募の中から「つるみっこパーク」と決定し、愛称決定に合わせて記念の夏祭りイベントを企画した。また、３年ぶりに開催となった鶴見区民まつりの利用調整や園内ペットマナーの向上に関する啓発など、参加団体各々の得意分野で公園をより良くするための取り組みが生まれた。

新型コロナウイルスによる事業進捗への影響が弱まりつつある中、令和４年度までに実施できていないものについてはR５年度以降実現できるよう取組んで参ります。

２－２ 成果指標にかかる数値目標の達成状況

施設名	項目	目標値	実績値	達成率	分析
鶴見緑地 (一般園地)	利用者満足度	85.0%	95.5%	112.4%	昨年比1.0ポイント増。引き続き高い満足度を得られた。
	来園者数 ※2026年度目標	5,500,000人	4,283,439人	77.9%	昨年比98.4%。来園者数は微減だが、1回あたりの駐車時間が長くなるなど、来園者の滞在時間が伸びている。
咲くやこの花館	利用者満足度	85.0%	89.0%	104.7%	概ね満足度を得られている。
	利用者数	190,000人	231,907人	122.1%	コロナ禍の影響もあったが園内催事との連携等により目標を達成できた。
陳列館ホール	利用催事数 ※指定管理者独自目標	159件	81件	50.9%	
	利用率	30.0%	25.6%	85.3%	
	利用者満足度	85.0%	100%	117.6%	コロナ禍でもイベントが実施できることに満足いただけた。
水の館ホール (附属展示場)	利用催事数	316件	351件	111.0%	コロナ禍の影響がある中、広いスペースが取れるので達成
	利用率	45.0%	51.3%	114%	
	利用者満足度	85.0%	100%	117.6%	コロナ禍でもイベントが実施できることに満足いただけた。
茶室むらさき亭	利用催事数	159件	36件	22.6%	上期コロナ禍の影響があり未達
	利用率	20%	11.3%	56.5%	
	利用者満足度	85.0%	100%	117.6%	コロナ禍でもイベントが実施できることに満足いただけた。
鶴見緑地馬場 (乗馬苑)	利用者満足度	85.0%	86.0%	101.2%	概ね満足度を得られている。
	利用者数	54,200人	57,092人	105.3%	利用者数は目標値を達成した。

鶴見緑地 パークゴルフ場	一人当り コース利 用率 ※指定管理 者独自目標	2.5 コース	2.23 コー ス	89.2%	混雑時はマーシャルを配置 し、プレーが滞らないよう 誘導を実施
	利用者満 足度	85.0%	95.6%	112.5%	近隣にお住いで70歳代以 上の方々が顧客の中心とな っている。 コースの手入れについては 概ね好評であるが、一部で 「雑草が多い」との指摘も あるため、より一層きめの 細かいコースメンテナンス を実施していく
	利用人数	29,500 人	32,939 人	111.7%	特に4～6月の利用者が増 加
鶴見緑地 地球技場	利用件数	6,600 件	6,087 件	92.2%	コロナの影響による一般の 利用自粛が起因
	利用率	70%	64.4%	92.0%	同上
	利用人数	234,000 名	251,357 名	107.4%	有観客の大会が開催される ようになった
鶴見緑地 庭球場	利用件数	28,500 件	20,206 件	70.8%	コロナによる利用自粛や悪 天候が起因
	利用率	55%	49%	89.0%	同上
	利用人数	85,000 名	80,824 名	95.0%	同上
鶴見緑地 第2運動 場	利用件数	800 件	650 件	81.2%	コロナの影響による一般の 利用自粛が起因
	利用率	45%	33.1%	73.5%	同上
	利用人数	16,000 名	19,740 名	123.3%	大会が開催されるようにな った
鶴見スポーツ センター	利用件数	3,400 件	3,405 件	100.1%	コロナによる利用自粛や大 会キャンセルの影響は多少 あるが、利用件数は増加で 推移。
	利用率	95%	92.9%	97.8%	多目的室の利用が伸び悩 む。
	利用人数	56,000 名	43,097 名	77.0%	大会等のキャンセルや1団 体の利用人数が少ない影響 が大きい。
鶴見緑地 プール	利用人数	160,000 名	104,115 名	65.1%	コロナ感染対策としての滞 留人数制限と2部入替制導 入と 12～3月空調設備更新工事 休館の影響あり。

3 管理運営状況

3-1 施設の開館時間・休館日

(1) パークセンター

施設名	開所時間	休所日
鶴見緑地パークセンター	午前9時から午後5時30分	12月29日から1月3日

(2) 有料施設

施設名	供用日・供用時間	定休日	臨時開館日 臨時休館日
咲くやこの花館	火曜日～日曜日 午前10時～午後5時（最終入館 午後4時30分）	月曜日（休日の場合は翌日）年末年始12/28～1/4	臨時開館日 8/15、3/20 臨時休館日 9月19日 午後1時～ 暴風警報発令に伴う 臨時休館
水の館ホール	令和4年4月1日(金)から 令和5年3月31日(金)まで	毎週月曜日 月曜日が祝日の場合は翌日 12月28日から1月4日	午前7時から午後9時まで
付属展示場	令和4年4月1日(金)から 令和5年3月31日(金)まで	毎週月曜日 月曜日が祝日の場合は翌日 12月28日から1月4日	午前7時から午後9時まで
茶室むらさき亭	令和4年4月1日(金)から 令和5年3月31日(金)まで	毎週月曜日 月曜日が祝日の場合は翌日 12月28日から1月4日	午前9時から午後5時まで
鶴見緑地馬場 (乗馬苑)	午前9時から午後9時まで	火曜日（休日の場合、翌日）及び12月29日から翌年1月3日まで	臨時休館日 9/19 台風14号暴風警報 発令のため臨時休館
鶴見緑地パークゴルフ場	午前9時から午後4時30分	・毎週月曜日 ・12月29日～1月4日	毎月最終月曜日はパークゴルフ場主催月例大会のため開場
鶴見緑地球技場	鶴見緑地球技場 午前9時から午後9時 ※供用時間延長 7月18日～8月24日 午前7時から午後9時 鶴見緑地球技場〈第2〉 午前9時から午後9時 ※供用時間延長 午前7時から午後9時	年末年始 12月29日から1月1日	臨時休館日 9月19日 午後1時～午後9時 暴風警報発令に伴う 休館指示の為
鶴見緑地庭球場	4月～10月 午前9時から午後9時 11月～3月 午前9時から午後7時 ※共用時間変更 11月～3月 午前9時から午後9時 11月～3月 火・金曜 午前9時から午後10時	無休	臨時休館日 9月19日 午後1時～午後9時 暴風警報発令に伴う 休館指示の為 12/31～1/2（メンテナンス）

鶴見緑地運動場	鶴見緑地運動場〈第2〉 午前7時から午後7時 ※供用時間短縮 10月～4月 午前7時から午後5時	年末年始 12月29日から1月1日	臨時休館日 9月19日 午後1時～午後9時 暴風警報発令に伴う 休館指示の為
鶴見スポーツセンター	4月1日から3月31日 午前9時から午後9時まで	毎週月曜日(その日が国民 の祝日の場合は、その日 の後最初に到来する休日) 及び12月28日から翌年1 月4日まで	臨時開館日 12月28日(水) 9時～午後3時(サービ ス向上のため) 臨時休館日 9月19日 午後1時～午後9時 暴風 警報発令のため
鶴見緑地プール	4月1日から3月31日 午前9時から午後9時まで ※屋外プール開館期間(6 月4日から9月25日まで 開館)9時から午後9ま で	毎週月曜日(その日が国民 の祝日の場合は、その日 の後最初に到来する休日) 及び12月29日から翌年1 月1日まで	臨時開館日 繁忙期による臨時開館 (9時から午後9時まで) 7月18・19・25日 8月1・8・15・22・29 日 ※8月8日は午前8時30 分から午後9時まで 下記の日程は午前8時30 分開館に時間変更 7月9・10・16・17・ 18・23・24・30・31日 8月6・7・8・9・ 11・12・13・14・20・ 21・27・28日 臨時休館日 5月23日～6月3日・9 月26日～10月7日(メン テナンス休館) 9月19日 午後1時～午後9時 暴風 警報発令のため 12月1日～3/31日(空調 設備更新工事休館)

(3) 管理許可施設

施設名	供用日・供用時間	定休日
立体駐車場(中央第1)	年中無休・24時間	年中無休
大池南レストラン	令和2年12月より休店中	不定休
大池南売店他5売店	11:00～15:30	不定休
咲くやこの花館レストラン	11:00～15:30	咲くやこの花館の休館日に準ずる
迎賓館	平日:12:00～19:00 土日祝:9:00～19:00	火・水曜日(祝日・婚礼日を除く)

3-2 職員の配置状況

(1) 総括責任者

総括責任者
大川 朋宏

(2) 施設責任者等

施設名	施設責任者	その他職員
一般園地	大川 朋宏	常勤職員 14 名 アルバイト 2 名
咲くやこの花館	上棚 亮	常勤職員 10 名 アルバイト 13 名
陳列館ホール・水の館ホール・ 茶室むらさき亭	一階 佳正	常勤職員 2 名 パート 4 名
鶴見緑地馬場 (乗馬苑)	林 尚	常勤職員 9 名 アルバイト 23 名
鶴見緑地パークゴルフ場	大川 朋宏	常勤職員 1 名 アルバイト 5 名
鶴見緑地球技場	檀野 雄一	常勤職員 3 名 アルバイト 7 名
鶴見緑地庭球場	檀野 雄一	常勤職員 2 名 アルバイト 7 名
鶴見緑地運動場	檀野 雄一	常勤職員 3 名 アルバイト 7 名
鶴見スポーツセンター	井上 泰宏	常勤職員 3 名 アルバイト 6 名
鶴見緑地プール	鷹野 優基	常勤職員 6 名、アルバイト 44 名(繁忙期 最高時) ※監視員ポスト 屋内 3 ポスト・屋外 1 ポスト・その他 9 ポス ト

(3) その他

その他責任者等	
電気主任技術者	福井 道晃
エネルギー管理員	福井 道晃
防火管理者	一般園地：大川 朋宏 咲くやこの花館：上棚 亮 陳列館ホール・水の館ホール：岸 達也 鶴見緑地球技場：檀野雄一 鶴見スポーツセンター：櫻井良美 鶴見緑地プール：鷹野優基 ※茶室むらさき亭、鶴見緑地馬場、鶴見緑地パーク ゴルフ場については、防火管理者選任対象外施設。

3-3 研修実施状況

【代表企業】大和リース株式会社 大阪本店

(1) 基礎研修

研修名	開催時期	参加人数	備考
接遇研修（ユニバーサルマナー研修）	2月	16人	継続
個人情報保護研修（情報セキュリティ研修）	1月	16人	継続
人権研修（LGBTQ）	9月	16人	継続
コンプライアンス研修（パワハラ研修）	4月	16人	継続
安全衛生研修（廃棄物処理について）	8月	16人	継続
防災訓練	3月	4人	継続
安全運転講習会	5月・12月	16人	継続
OJTエルダー研修	10月	1人	継続

(2) 専門研修

研修名	開催時期	参加人数	備考
経理研修（インボイス制度）	10月	5人	継続

【構成員】一般財団法人大阪スポーツみどり財団

(1) 基礎研修

研修名	開催時期	参加人数	備考
アテンダント研修（植物）	6月	10名	継続
安全衛生研修（メンタルヘルス）	9月、10月	11人	継続
安全運転講習会	11月	12名	継続
人権研修（ハラスメント防止）	12月	11人	継続
消防訓練	12月、2月	30人	継続
アテンダント研修（植物）	12月	10名	継続
個人情報保護研修	1月、2月	12人	継続
A T研修（接遇&マナー）	3月	10人	継続

(2) 専門研修

研修名	開催時期	参加人数	備考
人材育成研修（Biz CAMPUS（定額制公開型研修））	4月～3月	8人	継続
日本植物園協会第57回大会 岐阜県	5月	2名	新規
R4年度おおさか生物多様性施設連絡会への参加	8月	1名	新規
日植協 夏休みオンラインシンポジウム参加	8月	2名	新規
巡回点検業務研修	8月	2人	継続
日本植物園協会 技術者研修	10月	3名	新規
日植協第2分野運営会議「各植物園のSDGsの取組」への参加	11月	2名	新規
日本展示学会 in 東京国立博物館への参加 1名	12月	1名	新規
SDGs研修 財団主催（八幡屋パークセンター）	12月	2名	新規
経理研修（インボイス制度）	1月	10名	新規
博物館法の改正に伴う新登録制度に係る説明会	2月	1名	新規
日本植物園協会協絶滅危惧種データベース研修	2月	3名	新規
日本植物園協会第6回教育普及研修	2月	3名	新規
日本植物園協会 自然と人間との共生フォーラム	2月	3名	新規
日本植物園協会 ナショナルコレクション研修	3月	3名	新規
救命救急講習	3月	19名	継続
技術職員育成研修 「カカオ、コーヒー専門講座」	3月	5名	新規

【構成員】美津濃株式会社

(1) 基礎研修

研修名	開催時期	参加人数	備考
接遇研修（ユニバーサルマナー研修）	12月26日 3月20日	9人 12人	継続
個人情報保護研修	5月28日 5月29日 10月2日 10月3日	23人 23人 13人 14人	継続
人権研修（障がい者研修）	5月28日 5月29日 10月2日 10月3日	23人 23人 13人 14人	継続
コンプライアンス研修	11月21日 3月20日	9人 12人	継続
安全研修	5月28日 5月29日 10月2日 10月3日 3月20日	23人 23人 13人 14人 11人	継続
消防訓練・防災訓練	7月7日 9月27日 10月19日 11月10日 3月8日 3月23日	15人 15人 8人 8人 8人 15人	継続
応急手当訓練	5月28日 5月29日 11月20日 3月20日	23人 23人 13人 11人	継続
安全運転講習会	12月29日	5名	継続

(2) 専門研修

研修名	開催時期	参加人数	備考
物品販売対応研修	3月20日	15人	継続
顧客満足向上プロジェクト	3月20日	15人	コロナ禍で未開催であったが、今年度初開催。
熱中症対策研修	7月11日	12人	継続

【構成員】株式会社ウエルネスサプライ

(1) 基礎研修

研修名	開催時期	参加人数	備考
接遇研修（ユニバーサルマナー研修）	3月20日	5名	継続
個人情報保護研修	3月20日	5名	継続
人権研修（障がい者研修）	3月20日	5名	継続
コンプライアンス研修	3月20日	5名	継続
安全衛生研修（安全管理担当者研修）	5月	5名	継続
防災訓練（消防訓練）	8月	2名	継続
応急手当訓練	3月20日	5名	継続
リーダー研修	6月	1名	新規
防火管理者講習	8月	1名	新規
CPR研修	9月	5名	継続

【構成員】有限会社エルミオーレ

(1) 基礎研修

研修名	開催時期	参加人数	備考
人権研修（ハラスメント研修）	12月	5人	継続
個人情報保護研修	4月	9人	継続
コンプライアンス研修	10月	2人	継続
救急救命研修	8月	中止	継続

(2) 専門研修

研修名	開催時期	参加人数	備考
馬行動学講習会	3月	8人	継続
乗馬指導者講習会	7月	2人	継続
馬飼養衛生管理地方講習会	10月	1人	継続
動物取扱責任者講習会	11月	1人	継続

【構成員】三菱電機ビルソリューションズ株式会社 関西支社

(1) 基礎研修

研修名	開催時期	参加人数	備考
コンプライアンス研修	9月	3人	継続
個人情報保護研修	12月	3人	継続
人権研修（ハラスメント防止）	2月	3人	継続
安全衛生研修	3月	3人	継続

(2) 専門研修

研修名	開催時期	参加人数	備考
巡回点検業務研修	8月, 2月	3人	継続

【構成員】大和ライフネクスト株式会社

(1) 基礎研修

研修名	開催時期	参加人数	備考
接遇研修（ユニバーサルマナー研修）	2月	16人	継続
個人情報保護研修	8月	16人	継続
コンプライアンス研修	4月	16人	継続
安全運転講習会	5月	16人	継続

3-4 社会的責任、市の施策との整合性

3-4-1 個人情報保護の取組み

○鶴見緑地パークセンター

- ・基本的には出来る限り個人情報に該当する情報は取り扱わないこととし、業務上必要な情報については個人情報保護法及び各社で定める個人情報保護規定（USB などは持ち出さない、データ管理の際はパスワードを設定、紙媒体は鍵付きロッカーで管理など）に基づき取り扱っている。
- ・万が一漏洩があった場合に備え保険を付保した。
- ・個人情報保護研修を実施し、職員の意識向上に努めた。
- ・情報管理責任者はパークセンター長である大川が担った。

○咲くやこの花館

- ・個人情報保護責任者を配置
- ・個人情報の管理について、紙ベースの書類については、鍵付きのロッカーにて管理。
- ・記録媒体の管理方法については、特定の職員で行い、データにパスワードを設定。
- ・USB などの持ち出せる媒体での管理を行わない。
- ・個人情報保護研修の実施し、職員の意識向上に努めた（2月～3月・3-3 研修実施状況で記載）
- ・FAX・メール・保管場所・受付について、チェックシートを設けて、要所に貼りだしている
- ・FAX 送信時の確認①書類の誤りがないか ②番号の誤りがないか複数名で確認 ③送信完了か履歴で確認
- ・メール送信時の確認 ①アドレスは BCC 欄を使用しているか複数名で確認 ②送信時、上席にも同送しているか確認
- ・保管・受付は以下を確認 ①鍵のかかる場所に保管 ②受付場所では手元から離さない

○鶴見緑地パークゴルフ場管理事務所

- ・個人情報は原則受理しない
- ・競技志向の強い団体には、希望により氏名、生年月日付きの申込書を受付（ハンデ設定に必要）。施設側でスコアを集計後速やかに代表者へ原本を返却するよう徹底
- ・個人情報管理者を定め、個人情報保護の教育DVD視聴で実施

○鶴見緑地球技場他4施設管理事務所

- 【全施設共通】
- ・紙ベースの個人情報は鍵付き書庫保管と期限切れ書類はシュレッダーによる廃棄を実施
- ・個人情報記載のデータはパスワード管理・または社内個人情報保管データベースを活用、個人情報研修実施
- ・警察の捜査協力時は捜査関係照会書の提示を依頼
- ・球技場及びプールの責任者を個人情報保護管理者として定める
- ・事故が発生した場合は本部と連携・対応し、今後の対策を速やかに講ずる
- ・メール、FAX にて外部に個人情報記載資料を送信する際は、2名体制で宛先番号、アドレスの確認後に送信を励行
- ・個人情報の事務所外への持ち出し禁止

○陳列館ホール他2施設管理事務所

- ・予約者の個人情報ファイルに関しては、鍵付きキャビネットにて保管
- ・個人情報保護管理者としては施設責任者が兼任
- ・事故が発生した場合は、責任者を通じて各所へ連絡

○鶴見緑地馬場管理事務所

- ・施設責任者を個人情報責任者として組織的に管理している。
- ・利用者の個人情報は個人情報管理ソフトにて管理している。管理ソフトには従業員別にパスワードがあり入力しなければログインすることが出来ないようにプログラムされている。
- ・個人情報が記載された書類に関しては鍵のかかるキャビネット内に保管している。
- ・個人情報記載書類は保管の必要がなければ速やかにシュレッダーにて破棄している。
- ・メールは法人管理でパスワードをかけて保護している。職員の意識付けのため個人情報取扱につ

いての講習実施および個人情報保護法に基づいた誓約書を提出させている。

- ・外部からの問い合わせに対して個人情報は一切回答いたしておりません。
- ・書類等送付の際には確認表のチェック項目に従い、担当者と各項目責任者が 2 重チェックを行い、誤配信等がないようにしています。

3-4-2 就職困難者の雇用状況

団体名		障がい者雇用率	達成状況
【代表団体】	大和リース株式会社 大阪本店	2.39%	○
【構 成 員】	一般財団法人大阪スポーツみどり財団	3.64%	○
	美津濃株式会社	2.24%	×
	株式会社ウエルネスサプライ	3.13%	○
	有限会社エルミオーレ（法定対象外）	-	-
	三菱電機ビルソリューションズ株式会社 関西支社	2.45%	○
	大和ライフネクスト株式会社	2.33%	○

3-4-3 環境保護対策の取組み

○鶴見緑地パークセンター

公園の管理者として環境保護に資する取組は必須事項であり、公園管理業務を通して日常的に行われるものと考えている。園内清掃によるごみのポイ捨て対応や廃棄物の分別処分といった事後対応はもちろん、ポイ捨てをさせないための掲示物等による注意喚起や廃棄物の排出量抑制に積極的に取り組んだ。昨年同様、毎朝早朝ラジオ体操をされている市民有志団体との連携に加え、新たに毎週土曜日の朝にランニングをしている団体（parkrun Japan）と連携して各活動の後に清掃活動を実施、回収したごみをパークセンターにて処分する取組を実施した。

その他、環境保護に関する実施事項は以下の通り。

- ・一般廃棄物として処分していた落ち葉等を山のエリア等の緑地帯で腐葉土化することで園内での消費還元を実施。
- ・環境事業協会と連携した生物多様性に係るイベントの実施（昆虫観察会）
- ・園内の剪定枝や木の実等を使用したクリスマスリースづくりワークショップ
- ・ハガキの樹と呼ばれるタラヨウの葉を使用したクリスマスカードづくりワークショップ
- ・食物連鎖を中心とした養蜂学習実施
- ・イベントの付帯として招致しているキッチンカーについて、イベントの特性や参加人数に応じて販売物の種類や数量を調整（フードロスゼロへの取り組み）。併せて廃棄するトレイ等に環境配慮型材料の使用を促進。
- ・大阪産業大学が環境省から指定を受けた地域再生エネルギーに関する学習のためのフィールド提供及び講師協力

○咲くやこの花館

- ・ごみの減量化（複数枚コピーの両面印刷・ゴミの分別収集・入館者のゴミの持ち帰りを依頼、チラシ等の印刷枚数の適正化、再生紙、森林認証紙の購入）
- ・ペーパーレス化（会議時の資料を、PC 端末共有画面に変更）
- ・環境省地球温暖化対策、冷房時の室温 28℃設定など「クールビズ（COOL BIZ）」への参加
- ・植物多様性保全拠点園事業

【事業内容】

- ① 生物多様性保全に関するネットワークに参画
- ② 大阪生物多様性保全ネットワーク、大阪生物多様性施設連絡会に参加
- ③ 野外で自然と触れ合える機会を増やす取り組み・・・屋外庭園の「役立つ植物広場」を用いた農業体験や収穫体験、ワークショップの実施。
- ④ 身近なところで生き物・植物を見つけるイベント・・・昆虫と植物の関係を知る教室の実施や、食虫植物観察教室を開催。
- ⑤ 国内外の希少な植物の生息域外保全を推進・・・（公社）日本植物園協会と連携し、国内外の希少種保護プログラムなどに取り組むとともに、ヤシヤビシヤクやイトラッキョウ等約 100 種の日本産絶滅危惧植物種を栽培、展示
- ⑥ 国内外の希少な植物の生息域外保全を推進・・・環境省等から「生息域外保全情報」や、「保有植物のデータ」など関連する調査依頼等があれば協力する。
- ⑦ 外来生物の侵入・拡散防止に取り組み・・・在来種を保全する上で懸念される外来生物の侵入・拡散を防止するため、新しい植物を導入する際は情報収集を欠かさず行う。
- ⑧ ボルネオ（マレーシア）の熱帯雨林や植物の保護活動・・・ボルネオ保全トラスト・ジャパンの協力のもと、イベントを通じて、子どもたちに植物や自然環境に対する知識や関心を深めてもらい、熱帯雨林の保全の大切さを伝える。
- ⑨ ハワイの植物の紹介・・・当館が保有する希少なハワイ固有種から外来種まで、多数のハワイの植物を展示し、自然の大切さを啓発する。
- ⑩ マダガスカル植物紹介・・・フニーバオバブの開花に合わせ、サガリバナやオオオニバスといった夜咲きの花など、夜の植物園をめぐるナイトツアーを開催し、バオバブの故郷であるマダガスカルを取り巻く環境問題を含めた解説を行い普及啓発（R4 年度はコロナ感染防止の為、オンラインで開催）

今年度については、①、②、③、④、⑤、⑧、⑨、⑩を実施

- ・照明の LED 化
- ・本館（全トイレ）および事務所（1 階）の手洗い自動水栓化による節水（新型コロナウイルス感染防止策も含む）
- ・オリジナルの袋はバイオマス 30%以上のものを使用
- ・プラスチックバックの有料化（ミュージアムショップ）
- ・ごみの分別の徹底（事務所、レストラン、売店、カフェ）
- ・球状太陽光発電テントによるイベント、出店社の電力に利用
- ・フラワーロスへの協力事業 日本花き振興協議会による花の装飾展示を館の外（前池）にて開催し花卉活用場を提供
- ・秋のばら祭にて、「フラワーライフ振興協議会」と共催、計 3000 人の来場者にバラをプレゼントし、フラワーロスの認知活動を実施
- ・秋のばら祭で使用した切り花を当館関係先「プリザーブドフラワー協会」「押し花学院」に提供し、加工を依頼し、その加工されたバラを二次利用として、当館子供向けWSを次年度以降開催予定
- ・SDG's の観点から天王寺動物園と協力し、サバンナ堆肥を用いた土づくりを行い、また、堆肥のプレゼントを行った
- ・バナナの廃材となる葉や茎を利用して織り込んだ「バナナクロス」のティッシュケースを提供してもらい、フラワーツアーで紹介し、参加者へのノベルティとして配布した。
- ・洗剤や食品の袋を使って ミニバッグやアートフレームをつくろうという SDGs 工作イベントを実施した。
- ・大阪市の脱炭素に資する実証実験に協力した。
- ・ワシントン条約に該当する疑いのある植物の同定などの協力から、税関業績者表彰を受賞した
- ・プチイングリッシュガーデンに、枯葉、花殻などを堆肥化する SDG's Box を設置

○鶴見緑地パークゴルフ場管理事務所

- ・公園条例遵守。芝生のメンテは除草剤や農薬等散布一切せず、人手での除草を徹底（通年）
- ・産業廃棄物を極力出さない仕組み作り。発生分は球技場と同時に指定業者にて回収（１～２回／年）
- ・事務所不在時の消灯やエアコンの温度調整を徹底（通年）

○鶴見緑地球技場他４施設管理事務所

【共通】

- ・消耗品等のグリーン購入の実施
- ・コピー用紙の裏紙利用
- ・施設利用者が排出したゴミは、有料で引き取り処分か持ち帰りを推奨
- ・利用のない時間帯の各部屋、トイレ、館内廊下の消灯を促進して節電
- ・公園条例遵守、プール屋外の除草作業については、除草剤を使用せず人手で除草作業を徹底

○陳列館ホール他２施設管理事務所

- ・コピー用紙の裏紙としての再利用
- ・照明をこまめに消すなどし、電気使用量を減らす
- ・使わないときはコンセントからプラグを抜き、待機電力も減らす

○鶴見緑地馬場管理事務所

- ・不要な照明の消灯およびエアコンの温度設定による節電を実施。
- ・簡易な修繕は直営にて実施。
- ・社内書類を全て電子化し用紙などの消耗品消費を削減。
- ・馬糞の処理を近隣農家の方へ提供し、肥料として利用していただいている。また公園内植物の肥料としても提供し、処理費用を削減。
- ・馬の運動、調教等を日照時に行うことで、不要な馬場照明電力を削減。
- ・乗馬苑利用者や会員に向けての情報を SNS やスマートフォンアプリを利用して発信。チラシなどの資源削減や郵便送料などのコストを削減。
- ・事務所照明、厩舎照明をＬＥＤ照明に一部変更し、電気代を削減
- ・エアコンを新型に交換し電気代コストを低減
- ・コピー用紙の裏紙としての再利用

3-5 施設等の維持管理状況

3-5-1 施設の維持管理状況

○鶴見緑地全体及びパークセンター

○今年度の取組み概要

【植栽管理】

- ・頑張った点、工夫した点
(新規)

- ・風車の丘大花壇のコスモスの抜き取りイベントを実施し、植栽管理に伴うごみの減量化来園者サービスの向上に繋げるとともに、参加費収益を全額 TSURUMI こどもホスピスに寄贈し地域連携及び社会貢献に繋げることができた
- ・魅力向上事業としてローズツアーを実施。またバラにより親しんでいただくワークショップも開催した。
- ・園内のサクラ等の樹木約 700 本にエアースコップ・馬糞堆肥等による土壌改良を実施
- ・バラ園において直営生産の馬糞堆肥のマルチングを実施。防草、土壌改良、目減りした土壌の補充等、多角的な効果を見込む
- ・園内の巡視点検において、植栽部分(特に樹木関係)のチェックを強化。点検項目をより具体化、明確化し不具合箇所の発見および対応を迅速化
- ・GW 前、台風前、大型イベント前等、園内の枯枝や枯損木等の危険樹木の除去を徹底し、樹木による災害を未然に防止することができた
- ・風車の丘の風車下の未活用地に花の植栽(ミューレンベルギア・寒咲きナノハナ)を実施し、花の魅力を向上
- ・パークセンター前の枯損樹木の植え替えを実施し、当該植栽樹を花壇として再生させた
- ・一般社団法人未来とコラボと連携し、周辺に住む子供たちを中心に園内花壇の植え替えや竹垣の修繕、金属製ゲートの塗装等をお仕事体験プロジェクトとして実施、つるみっこパークの看板も制作

(R3～継続)

- ・常駐植栽業者職長による随時点検及び枯枝除去作業を実施
- ・除草時苦情の多い近隣対策として、境界付近に防草シートを敷設し飛石リスクを軽減
- ・来園者のにぎわう大芝生除草回数を仕様書の 5 回から 8 回に増やし利用者満足度を向上
- ・くすのき通の除草回数を仕様書の 3 回から 5 回に増やし利用者満足度を向上
- ・大花壇で 12 月から 2 月も花を鑑賞できるようビオラを植え付け、冬場の来園者増加を図った
- ・アーモンドの森において寄付樹木の樹勢回復の為、昨年度に引き続き園内産の馬糞堆肥の鋤き込みを行った
- ・バラ園南側斜面地において、ヒマワリ 6000 株とネモフィラ 6000 株を植栽し、多くの来園者にお楽しみいただいた
- ・鶴見緑地乗馬苑と連携し馬糞の堆肥化を実施。園内各所に土壌改良材として活用
- ・改善すべき点
 - ・繁忙期の人員調整が整わず除草作業のスケジュールに一部遅れが生じたため、次年度は適切な時期に作業が実施できるよう事前調整を密にする必要がある

【施設管理】

- ・頑張った点、工夫した点
 - ・利用者の多い西口遊具広場ベンチ、大芝生便所横ベンチ及び中央噴水ベンチの計 12 基について、座面をふるい木材からリサイクル建材へリニューアルした
 - ・鶴見新山のスロープ及び頂上手すり柵の塗装を実施し、長寿命化及び景観向上を図った
 - ・一般社団法人未来とコラボと連携し、周辺に住む子供たちを中心につるみっこパークの名称を表示する看板を作成した。
- ・改善すべき点
 - ・今年度までは対処療法的な事後修繕を中心としていたが、設備等の耐用年数経過が著しいため予防修繕による長寿命化を中心として実施していく必要がある。
 - ・万博 2025 に向けて見えかかり部の美装修繕を行っていく必要がある。

【電気、機械、設備、建築関係】

- ・受電設備点検整備(6.10.2月)
- ・東受電所直流電源設備点検整備(8月)
- ・公園事務所自動扉装置点検整備(5.8.11.2月)

- ・消防設備点検整備（7.9.1.3月）
 - ・政府苑消防設備点検整備（7.1月）
 - ・給水設備点検整備（1月）
 - ・空気調和設備点検整備（6.12月）
 - ・外周水路水源設備点検整備（10月）
 - ・大池浄化装置点検整備（5.8.1月）
 - ・大池排水調整ゲート点検整備（6月）
 - ・風車設備点検整備（7.2月）
 - ・中央噴水設備等点検整備（3月）
 - ・緑の溪流設備点検整備（11月）
 - ・自然体験観察園流れ設備点検整備（10月）
 - ・緑のせせらぎ流れ設備点検整備（10月）
 - ・展望塔航空障害灯設備点検整備（6.10.2月）
 - ・子供の森排水設備点検整備（11月）
- 業務チェックシートに沿って年間の樹木管理等の出来高数量や実施回数等を記載すること
- 樹木剪定（高木）…749 本実施
 - 剪定（枯れ枝、障害枝）…9 回実施
 - 剪定（中木）…783 本実施
 - 剪定（低木）…23,965 m²実施
 - 除草・草刈り（園路・広場含む）…1,401,201 m²実施
 - 不陸整正・土入れ… 19 回

○咲くやこの花館

- ・維持管理方針ならびに維持管理業務仕様書を順守し、質の高い維持水準を保てるように努め、来園者が快適かつ安全に過ごせるような空間を提供しました
- 【植物等維持管理関係】**
- 植物の入れ替え 13,888 鉢
 - 除草、枯葉・枯れ枝処理、凋花 9,242 m²
 - 整枝、剪定、刈込 8,501 m²
 - 芝刈り（外周緑地）7 回 5,432 m²
 - ワシントンヤシほか高所作業剪定 5 回
 - 薬剤散布 419 回
 - 施肥 764 回
 - 植替え 11,465 鉢
 - 灌水 364 日
 - 挿し木、挿し芽、取り木、接木、株分、播種 2,414 本
 - 開花調整（月下美人他、夜咲きサボテン、花芽の状態を確認し随時実施）95 鉢
 - 開花調整（高山気候植物、山野草、随時実施）2,553 鉢
 - 受粉作業（トックリキワタ、カカオ、ロウソクノキ他 開花中随時実施）40 回
 - キャットウォーク清掃（雨林、花木）21 回
 - 池、流れ清掃（雨林、花木、高山） 6 回
 - ロータスガーデン池藻回収 44 回
 - ロータスガーデンビニール外し、張替 1 回
 - 屋外栽培場管理（剪定、除草、灌水等栽培管理）27 回
 - つる性植物誘引作業 2 回
 - ハイビスカスワールド防寒準備、取り外し 2 回
 - デザートガーデン冬囲い取り付け、取り外し 2 回
 - 前池植物入替え 島の植物植替え 3 回
 - 熱帯植物の屋外への搬出入 2 回
 - 栽培棟温室防寒対策 ビニール 2 重張り張替等 2 回
 - 鉢洗い（4 班×12 回）48 回
 - イベント準備、撤収 22 回
 - 役立つ広場栽培維持管理（剪定、除草、灌水等栽培管理 イベント対応含む）19 回
 - プチ・イングリッシュガーデン栽培維持管理（剪定、除草、灌水等栽培管理）33 回
 - 温室内床、ガラス等のコケ取り清掃 12 回
- 【電気、機械、設備、建築関係】**

- ・設備運転点検 休館日以外毎日 設備により月1回 2週間に1回 1週間に1回有り
- ・設備棟電気室点検 1週間に1回
- ・湧水排水ポンプ 水中ポンプ絶縁及び電流値測定 月1回
- ・ヒートポンプチリングユニット点検 休館日以外毎日（運転中のみ）
- ・展示棟機械設備点検 休館日以外毎日 設備により月1回 2週間に1回 1週間に1回有り

【保守点検整備業務実績】

- ・受電設備点検整備（10月）
- ・自家用発電機設備点検整備（9月、実負荷点検2月）
- ・直流電源設備点検整備（8月）
- ・消防設備点検整備（9.3月、防火対象物点検3月）
- ・噴水・滝循環ろ過設備点検整備（7.3月）
- ・給排水衛生設備点検整備（10月）
- ・空気調和設備点検整備（6.12月）
- ・空調自動制御設備点検整備（7.9.11.1月）
- ・熱源設備点検整備（4.5.6.8.9.2月）
- ・ファイトトロン設備点検整備（5.7.9.11.1.3月）
- ・舞台照明設備点検整備（12月）
- ・舞台音響設備点検整備（10月）
- ・舞台吊り物装置点検整備（3月）
- ・側窓装置点検整備（12月）
- ・栽培棟天窗装置点検整備（9月）
- ・中央監視制御設備点検整備（12.3月）
- ・放送設備点検整備（9.2月）
- ・自動扉設備点検整備（5.8.11.2月）
- ・昇降機設備点検整備（各月実施、12月検査）
- ・建築設備定期調査（2月）
- ・建築防火設備定期調査（2月）
- ・建築物定期調査（12月）

○鶴見緑地パークゴルフ場管理事務所

- ・落葉の清掃と収集、コース内樹木の張出しチェックを開場前業務として実施（通年）
- ・安全・安心な利用環境の提供のため、危険個所の補修およびコースのメンテナンスを強化（通年）
- ・低木刈込みや害虫が発生し易い中低木の剪定やバンカー内雑草除去を実施（1～2回／月）
- ・快適なプレー環境の維持を目的に、スタート台のティー・OB杭・防球ネット等の補修（随時）

○鶴見緑地球技場他4施設管理事務所

【共通】

- ・日常清掃は毎日実施（※プール・スポーツセンターの休館日は除く）
- ・定期清掃実施（年2回）
- ・害虫駆除清掃実施（年2回）
- ・剪定と除草を随時実施
- ・スポーツ器具の点検を定期的に実施

【鶴見緑地プール】

- ・夏季プール開始前・終了後館内清掃実施
- ・利用者様利用後ロッカー清掃・消毒実施

【球技場・運動場・庭球場】

- ・運動場の利用前の整地、人工芝のメンテナンスを定期的に実施
- ・植栽剪定、落葉拾いを日常的に実施
- ・貸出備品の在庫チェックを定期的に実施

（電気、機械、設備、建築関係）

【球技場・第2球技場・庭球場】

- ・球技場、庭球場の開館時間外は、総合警備保障「アルソック」にて機械警備を実施。

- ・球技場エレベーター設備点検整備業務（各月実施、11月検査）
- ・球技場、庭球場空気調和装置点検整備業務（5月、11月）
- ・球技場、庭球場消防設備点検整備業務（7月、12月、球技場防火対象物点検1月）
- ・球技場自家発電設備点検整備業務（1月、実負荷点検10月）
- ・球技場中央監視装置点検整備業務（1月）
- ・球技場多目的トイレ自動扉設備点検整備業務（6月、9月、12月、3月）
- ・球技場加圧給水設備点検整備業務（6月）
- ・球技場汚水排水設備点検整備業務（7月）
- ・球技場、第2球技場場受変電設備点検整備業務（6月）
- ・球技場建築設備定期調査（2月）
- ・球技場建築防火設備定期調査（9月）
- ・球技場建築物定期調査（12月）
- ・球技場得点表示設備点検整備業務（3月）
- ・球技場、第2球技場、庭球場ナイター照明設備点検整備業務（1月）
- ・庭球場受電設備点検整備業務（10月）
- ・庭球場自動扉設備点検整備業務（5月、8月、11月、2月）

【鶴見緑地プール】

- ・開館時間外は、総合警備保障「アルソック」にて機械警備を実施。
- ・エレベーター設備点検整備業務（各月実施、12月検査）
- ・空調熱源設備点検整備業務（5、8、11月）
- ・消防設備点検整備業務（7月、12月、防火対象物点検7月）
- ・自家発電設備点検整備業務（7月、模擬負荷点検3月）
- ・中央監視装置点検整備業務（11月）
- ・自動扉設備点検整備業務（5、9、11、2月）
- ・給湯設備点検整備業務（9月）
- ・加圧給水設備点検整備業務（6月）
- ・汚水排水設備点検整備業務（9月）
- ・受変電設備点検整備業務（6月）
- ・直流電源設備点検整備業務（7月）
- ・空調自動制御設備点検整備業務（6、1月）
- ・プール用水循環ろ過設備点検整備業務（5、12月）
- ・排煙オペレーター設備点検整備業務（6月）
- ・流水プールゲート点検整備業務（5、9月）
- ・非常放送設備点検整備業務（7、12月）
- ・建築設備定期調査（2月）
- ・建築防火設備定期調査（2月）
- ・建築物定期調査（12月）

【鶴見スポーツセンター】

- ・開館時間外は、総合警備保障「アルソック」にて機械警備を実施
- ・受変電設備点検整備業務（10月）
- ・自家発電設備点検整備業務（9月、実負荷点検3月）
- ・自動扉設備点検整備業務（5、8、11、2月）
- ・消防設備点検整備業務（7月、12月、防火対象物点検7月）
- ・空調熱源設備点検整備業務（5、8、11、2月）
- ・空気調和設備点検整備業務（5月）
- ・排煙オペレーター設備点検整備業務（9月）
- ・建築設備定期調査（2月）
- ・建築物定期調査（12月）

○陳列館ホール他 2 施設管理事務所

(電気、機械、設備、建築関係)

- ・受変電設備点検整備 (水の館 10 月、陳列館 11 月)
- ・水の館ホール消防設備点検整備 (7. 12 月、防火対象物点検 1 月)
- ・水の館ホール空調設備点検整備 (6. 12 月)
- ・水の館ホール側窓開閉装置等点検整備 (9 月)
- ・水の館ホール建築設備定期調査 (2 月)
- ・陳列館ホール自家用発電機設備点検整備 (6 月、実負荷点検 11 月)
- ・陳列館直流電源設備点検整備 (6 月)
- ・陳列館消防設備点検整備 (6. 12 月、防火対象物点検 12 月)
- ・陳列館ホール A V 設備点検整備 (7 月)
- ・陳列館ホール機構設備点検整備 (8 月)
- ・陳列館非常放送・I T V 設備点検整備 (9 月)
- ・陳列館ホール照明設備点検整備 (9 月)
- ・陳列館空調・熱源設備点検整備 (4. 11 月)
- ・陳列館空調自動制御設備点検整備 (4 月)
- ・陳列館エレベータ設備点検整備 (各月実施、8 月検査)
- ・陳列館建築設備定期調査 (2 月)
- ・陳列館建築防火設備定期調査 (2 月)
- ・茶室むらさき亭消防設備点検整備 (9. 3 月)
- ・茶室むらさき亭空調設備点検整備 (6 月)

○鶴見緑地馬場管理事務所

- ・馬場の整地整備、施設敷地内の草刈り、落葉清掃は日常的に随時直営にて実施。
 - ・厩舎扉、水回り設備等の修繕、補修の実施。
- (電気、機械、設備、建築関係)
- ・消防設備点検整備 (9. 3 月)
 - ・自動扉設備点検整備 (5. 8. 11. 2 月)
 - ・受変電設備点検整備 (6. 10. 11 月)
 - ・空調設備点検整備 (6. 12 月)

3-5-2 修繕実施状況

別紙 (R4【別紙】3-5-2 修繕実施状況) のとおり

3-6 安全管理・危機管理

(1) 安全管理

○鶴見緑地パークセンター

事故防止・危険防止のために日々の巡視点検を確実にし、危険を招く利用に対しては注意や声掛けを行うほか、施設の日常点検等を実施して必要な補修により常に安全を確保した。維持管理業務上の作業中は安全対策としてカラーコーン等の設置や事前告知により来園者が誤って侵入することを防いだ。また、事故発生時には迅速・適確な対応が取れるよう、職員の行動等をまとめた「安全対策及び事故・災害対応マニュアル」を作成し、これに基づく訓練を行った。警報発令時の施設の開閉については、建設局長からかねてより発信されている「公園有料施設等における台風接近時の対応について」に基づいて対応した。

○咲くやこの花館

- ・スタッフによる巡回チェック（午前、午後、閉館時 3 回/日）を実施
- ・スタッフによる不具合チェック（1 回/日）を実施
- ・大阪市内に暴風警報が発令された場合は、臨時閉館を実施
- ・来館者の安全と利便等に十分配慮し、休館日を活用した効率的な作業や、作業に応じた保安用具の設置等安全管理計画をたてて作業を実施
- ・各作業に当たってはケガ等の無いよう十分留意し、高所作業を行う場合はヘルメット、安全帯を必ず着用するとともに、作業前に作業員全員でミーティングを行い作業内容や安全作業の確認を行った後作業を実施
- ・作業時には、常に植物や既存施設等に損傷を与えないよう注意し、作業を実施

○鶴見緑地パークゴルフ場

- ・高所作業、刈払機使用時は原則二人体制で作業し、周囲の安全確認を徹底する
- ・夏季は熱中症予防として水分補給と休息の声掛けを励行。また、危険度指数をのぼりで色分けして周知を行う
- ・雷雨、暴風注意報、警報等の情報収集と、発生時には管理棟他への誘導體制を確認
- ・救急要請時のスムーズな救急車誘導のため、ゲートの開錠予備鍵をコース受付で管理し対応する

○鶴見緑地球技場他 4 施設

【全施設共通】

- ・新型コロナウイルス対策として毎日館内や備品の消毒を実施
また利用者向けにエントランスホールに検温装置、館内の各所に消毒液を設置
- ・開館前、昼過ぎ、閉館前の 1 日 3 回館内の施設巡回を実施
- ・全スタッフが CPR 訓練に日常的に励行
- ・暴風警報発令時には、利用者の避難誘導、管轄局へ連絡
- ・屋外施設で雷発生時、利用者避難誘導、屋外施設利用中断
- ・備品点検

【球技場・運動場・庭球場】

- ・毎日ピッチ、コート点検して、利用前の安全点検を実施
- ・サッカーゴール、ラグビーポール点検を随時行い、不備がないかチェックを実施
- ・貸出備品の安全点検を定期的の実施

【鶴見緑地プール】

- ・事故を想定した救助訓練を実施
- ・泳力訓練実施
- ・毎日の設備巡視点検

【鶴見スポーツセンター】

- ・毎日の設備巡視点検

【維持管理業務における作業時の安全対策】

- ・作業時ヘルメット安全帯着用
- ・作業内容によって複数人体制

○陳列館ホール他 2 施設

毎日巡回を行い、施設点検を実施した。
警報発令時は、施設責任者が対応した。

○鶴見緑地馬場

巡回点検の実施（随時）

乗馬指導者講習会にてスタッフの安全管理意識の習得
騎乗時のヘルメット（3 点式）と安全ベスト（エアバック）の着用義務化
夜間など無人の際に備えセキュリティシステムの導入

馬場整備の実施（随時）

馬具、装備品の劣化等点検、交換、修繕の実施
馬匹の健康管理、運動と調教による安全な馬の提供

(2) 危機管理

○鶴見緑地パークセンター

- ・実際に事故が発生した場合は、直ちに現場に急行して状況及び内容を把握し、負傷者の保護・救護、応急手当、救急車の要請、初動対応を適切に行うと共に、大阪市の担当部局に対して 30 分以内に報告するとともに、並行して事故の初期対応と事故現場の状況を記録保存し、速やかに事故報告書を作成した。
事故報告書については、対応完了後、パークセンター事務所にて適切に保管した。
- ・事故は初期対応が大切であるため、平常時から事故等に対応する体制と役割分担を確立し、事故発生時に速やかに対応できる体制を整えた。
- ・日々の出勤スタッフが違っても適切な応急対応ができるよう、全員が複数の役割を担えるように訓練等を実施しておくとともに、デイリー表によってその日の役割を明確にして職務にあたった。

○咲くやこの花館

- ・事件事故が発生した場合は、直ちに現場に急行して状況及び内容を把握し、負傷者の保護・救護、応急手当、救急車の要請、初動対応を適切に行うと共に、大阪市へ第一報を 30 分以内に報告したのち、対象事案の状況を記録保存し、速やかに事故報告書を作成した。
事故報告書は、市様に報告し、事案完了後、事務所内にて適切に保管した。
- ・事故は初期対応が重要であるため、常日頃から、事故等に対応する体制と役割分担を明確にし、事故発生時に速やかに対応できる体制を整えた。
- ・シフト制の為、どのスタッフでも適切な応急対応ができるよう、役割を明確にした体制づくりを実施しました。
- ・雷・地震発生時に、館内放送およびアテンダントによりお客様を誘導
- ・熱中症 注意喚起 館内掲示および館内放送にて呼びかけを実施
- ・熱中症が心配される時期に館入り口にて保冷剤を配布
- ・熱中症の入館者用に経口補水液を常備し、必要時に配布
- ・コロナ対策として、距離をとるなど、館内放送にて呼びかけを実施
- ・館内の各所にアルコール消毒液の設置
- ・入館時に入館者全員に検温を実施
- ・出入り業者、関係者など館内入館者には検温を実施

○鶴見緑地パークゴルフ場

- ・事務所、受付内にスマイルパートナーズ緊急体制連絡網、P G 場スタッフ連絡網の掲示
- ・緊急時 30 分ルール of スタッフ間周知徹底
- ・救急要請は鶴見消防に第一報をれることを徹底し、スムーズな誘導につなげる
- ・事故報告書用紙はコース受付と事務所に保管する。現場で聴き取りのうえ用紙記入し、履歴は PC にパスワード設定し保管

○鶴見緑地球技場他 4 施設

- 【共通】
- ・事故処理について、速やかに貴市に報告した後、5 施設と本社への共有
- ・教室事業内で発生した事故については、傷病者にケガの経過確認と傷害保険案内
- ・消防訓練・防災訓練を年 2 回実施
- ・事故報告書の保管については PC 内でパスワード設定をして管理
- ・緊急連絡体制図・自衛消防組織図・スポーツ施設緊急連絡表の掲示
- 【球技場・運動場・庭球場】
- ・夏季期間の熱中症指数を計測実施し、のぼりを設置し利用者へ注意喚起

○陳列館ホール他 2 施設

- ・各施設に事故対応マニュアルを設置
- ・事故報告書に関しては、データと書面で管理

○鶴見緑地馬場

- ・事故発生した場合、発生後、状況を把握したうえで速やかにパークセンターへ報告
- ・事故報告書の作成と提出
- ・事故発生後、全体会議にて事故の分析、意見会議を毎回実施
- ・社内システムにてデジタル化し、事故報告書を保存保管

(3) 体制等

○鶴見緑地パークセンター

消防訓練など、スタッフとして必要となる各種研修、訓練を適宜実施した。
※詳細は、3－3 研修実施状況に記載。

○咲くやこの花館

- ・安全衛生委員会（3回/年）
 - ・安全衛生巡視（1回/年）
 - ・救命救急講習、消防訓練の実施
- ※詳細は、3－3 研修実施状況に記載

○鶴見緑地パークゴルフ場

- ・パークゴルフアドバイザーの常駐
- ・リスクマネジメント、接客研修(お客様対応、マナー教育) 教育等のDVD視聴(随時)
- ・定期的なAED訓練の実施(年/1回)

○鶴見緑地球技場他4施設

【共通】

- ・救急車要請時に施設間で誘導できる体制をスタッフ間共有
- ・安全研修・個人情報研修・接客研修・コンプライアンス研修・運転研修・人権研修の実施
- ・スタッフ強化の為に CPR・AED 訓練を常時実施(全体での安全研修は別途実施)

【プール】

- ・監視強化研修実施・遊泳研修実施

○陳列館ホール他2施設

- ・安全研修年2回実施
- ・出勤時 CPR 訓練実施

○鶴見緑地馬場

- ・継続的に研修及び講習会を開催し、各担当及び職員が受講。
- ・専門講師を招き、実習実技を講習。指導員資格の更新制度
- ・大阪府主催動物取扱責任者講習会を年1回受講

3-7 苦情・要望等の対応状況

○鶴見緑地パークセンター

- ・スケートボードに関するご意見（年間 309 件）
→声掛けにより止めていただく。
- ・水景施設への入水行為に関するご意見（年間 2 件 ※主に夏季）
→声掛けにより止めていただく。
- ・バイクの乗入に関するご意見（年間 221 件）
→声掛けにより退去していただく。
- ・火気の使用（花火）に関するご意見（年間 226 件 ※主に夏季）
→声掛けにより止めていただく。
- ・スポーツ（野球、サッカー、ゴルフ、壁打ち、団体での陸上）に関するご意見（年間 114 件）
→声掛けにより止めていただく。
- ・犬の放し飼いに関するご意見（年間 218 件）
→声掛けによりリードを装着していただく。

○咲くやこの花館

- ・植物の樹名札が少ない→外周庭園を中心に樹名板を増設
- ・屋外展示の順路がわかりにくい→スタンド式の誘導サインにて対応
- ・大阪フリーWi-Fi がつながらない→大阪フリーWi-Fi 事務局から代替機器を送付してもらい対応

○鶴見緑地パークゴルフ場

- ・利用者は高齢者主体のため、受付スタッフの懇切丁寧な接客を徹底する
- ・常連客との馴れ合いの禁止
- ・要望、意見は日常会話から随時収集し、改善に努める
- ・新規入場者と常連客のプレー速度に差があるので、混雑時にはスタッフがコース内で整理を励行

○鶴見緑地球技場他 4 施設

【球技場・運動場】

- ・音響設備と観覧者の声援と利用時の声が近隣住民から苦情がでないように、注意喚起と掲示
- ・利用者が施設前の園路での通行の妨げにならないよう、声掛けと注意喚起を掲示

【プール】

- ・熱中症予防のため 2 部入替制を 1 週間早める
- ・スライダーの待ち時間が長くなってしまった為、安全に配慮しながら時短対応実施

【スポーツセンター】

- ・経年劣化により床が滑るため、体育館床専用薬剤を散布し対応
- ・スポーツセンター駐車場入り口に路上駐車が多く、警察に相談

○陳列館ホール他 2 施設

- ・いのちの塔フォトカプセル 要望 1 件（3 月）

【内容】いのちの塔フォトカプセルのカード紛失で再発行のご依頼で来館、検索用 PC 不調の為出来ない事をお伝えするも、1 年以上もたっているので大阪市に強く伝えてほしい。

→管理元である大阪市へ伝えることを約束。

○鶴見緑地馬場

- ・適正な馬の飼育がされていないのではないか。→馬の状況と厩舎の状態を動物愛護センター職員に実際に見てもらい、そのようなことがないことを確認してもらった。また専属の獣医師についても病院名、獣医師名、病院住所を提示し、馬匹の体調が悪い場合は専属獣医師に往診に来てもらって適宜対応していると説明した。

3-8 事故の対応状況

○鶴見緑地パークセンター

- ・強風によりハルニレが倒木（4月）
→引続き、強風時は速やかに巡視点検を行い利用者の安全確保に努める。
- ・警察より、緑地橋口公園入口で自転車がポールにぶつかる単身事故発生との連絡（4月）
→幸い物的被害がなかったため、物損事故としての取り扱いせず。
- ・パークセンターバックヤードにおいて植栽維持管理業者のブロワー発火（6月）
→パーククリーナー液乾燥前にエンジンを始動させたため発火。今後は点検時等機械清掃の際はエアクリーナーを使用し、パーククリーナー液を使用しないことを徹底。
- ・パークセンターバックヤード車両接触事故（6月）
→維持管理車両（委託業者）が停車中の車両に衝突。当該業者に安全運転講習を徹底させる。
- ・駅前エリア便所にて盗撮事案（7月）
→警察に通報。被害届を提出。
- ・むらさき亭北側裸地園路にて来園者が金属片を踏み抜いて怪我をする（9月）
→救急搬送。後日金属探知機を用いて園内全域の裸地園路調査及び金属片の撤去を実施。
- ・バーベキュー場便所の洗面台下ハンドル11個の盗難発生（11月）
→警察に通報し、被害届提出。復旧済み。
- ・キャンプ場内の火の元処分用ドラム缶から発煙（3月）
→利用者への火の元処分徹底喚起及び警備巡回時に火の元処分確認の徹底。

○咲くやこの花館

- ・施設・設備等故障(事故) 咲くや熱源用守口下水送水管漏水

○鶴見緑地パークゴルフ場

- ・警察対応、救急搬送事例なし
- ・特に高齢来場者の体調確認。疲労度が高い場合には積極的な中断の声掛けを実施（7、8月度）

○鶴見緑地球技場他4施設

- 【球技場】
 - ・4月27日に集中豪雨により球技場館内が浸水。その他計3回浸水。
- 【プール】
 - ・8月3日 痴漢事件 1件(警察要請あり)
- 【スポーツセンター】
 - ・事故の発生はなし

○陳列館ホール他2施設

2月17日 イベント搬出業者が施設に入る際、燃料タンクを地面ですり燃料漏れを起こす。
鶴見消防が来るが問題なし。(利用者様への影響無し)

○鶴見緑地馬場

- ・練習中にバランスを崩し、落馬。その際に腰を打ったため救急車にて搬送。腰椎圧迫骨折の疑いと診断され、通院1ヵ月（10月）
- ・騎乗中にバランスを崩し落馬。落馬の際、馬の脚が落馬者の右足に当たったため救急車にて病院搬送。右足打撲と診断され、入院はしなかった。通院2週間。（3月）

4 事業実施状況

4-1 サービス向上の取組み

(1) 公園全体及び一般園地

- ・(継続) 令和 3 年度に導入した「つるモビ」の広報や関連コンテンツの拡充による普及促進を行い、だれもが自由に園内を回遊できるようにした。
- ・(継続) 園内の見どころをタイムリーに情報発信できるよう SNS やホームページの定期更新を行い、来園者が来たいときに来られる仕組みとした。
- ・(継続) パークセンターでの車椅子やベビーカーの貸し出し、障がい者手帳をお持ちの方の駐車場料金割引対応など、接遇面も含め来園者へのサービス向上を図った。
- ・(継続) 1 月 1 日の初日の出に合わせて山のエリアを初日の出スポットとして AM5:00 に開場した。
- ・(継続) R2 年度に導入した HUBehari により、園内移動手段の拡充と回遊性の向上を図っている。園内複数の施設を利用される方に対してのサービス向上はもとより、広大な園内を全て楽しんでいただけるための仕組みとして機能している。
- ・(新規) はらぺこ circus (5 月) やアウトドアデイジャパン (9 月) といった大型イベントの実施に向けて主催者及び公園事務所との利用調整を行い、鶴見緑地として初開催した。特にはらぺこ circus は期間延べ 11 万人超の来場者となり、普段公園に来られる方へのサービス向上はもとより鶴見緑地に来たことのない方への PR として成功した。
- ・(新規) 令和 3 年度に新設したインクルーシブ遊具の広場を公募により「つるみっこパーク」と名付け、それを記念した「つるみっこパーク夏祭り」を令和 4 年 8 月に開催し、シビックプライドの醸成に寄与した。
- ・(新規) コメダ珈琲店(11 月)、スターバックスコーヒー (1 月)、BOTANICAL HOUSE (3 月) をオープンさせ、飲食を提供する施設が少なかった園内の利便性を向上させた。
- ・(新規) 駐車場コールセンターに鶴見緑地専任者を配置した。
- ・(新規) 駐車場出口渋滞緩和のため、パークセンターでの障がい者手帳割引認証を 100 円値下げした。

(2) 有料施設

○咲くやこの花館

(設備の更新・改修等)

- ・解説付き樹名札の増設
- ・外周緑地および各外部庭園樹木ラベル取付
- ・ステージ用音響装置更新
- ・館内掲示板、表示サインの移設、更新
- ・役立つ植物広場の藤棚の更新、休憩所屋根塗装
- ・レストランの客席増設、チャイルドチェアの増設
- ・フラワーホール床マット更新
- ・貴賓室時計更新
- ・WS、教室予約にオンライン予約の導入
- ・アンケート (WS) → グーグル QR コード

(イベントの実施)

- ・フラワーツアー (無料・有料) の実施
- ・ボランティアスタッフによる館内ガイドの実施
- ・クイズラリーやイベントに付随するラリーなどを実施

(サービスの提供)

- ・フラワーツアー時のイヤフォンガイド
- ・保冷剤配布による熱中症対策
- ・お客様の希望する植物が見ごろになった際にご連絡を差し上げる「咲くやコール」を実施
- ・トイレ (多目的を含む) のみ利用、授乳室のみ利用のお客様は無料に対応
- ・ベビーカー・車いすの貸出
- ・大型荷物のお預かり (ロッカーに入らないものも対応)
- ・雨天時に外部庭園散策用の傘を貸出
- ・館内入口にて虫よけスプレー (ジェル) の提供

・多言語注意書作成

(コロナ禍での取組み)

- ・オンラインワークショップの継続
- ・コロナ感染拡大防止対策として 館内の換気、入館者への水際検温、館内 (椅子、テーブル、手すり等) の除菌作業を随時実施、除菌用アルコール消毒液の設置 (設置場所: 館内入口、案内所、1・2階トイレ、1階フラワーホール内)、改札および案内所に飛沫防止用の透明ビニールカーテン設置、エレベーター操作ボタンに抗菌シール貼付け、年間パスポートと入館券の有効期限を延長

(その他)

- ・雷発生や地震の際には、館内アナウンスにて退館時での注意喚起を実施

○鶴見緑地パークゴルフ場

- ・自治会コンペの開催予定日等を受付カレンダーに掲示、一般利用者に混雑日時の見える化を実施
- ・日頃の感謝の意を込め、年始開場3日間 (100本/1日) 年賀タオルを配布

○鶴見緑地球技場他4施設

【プール】

- ・プール整理券配布状況を施設ホームページにて掲載
- ・プール夏休み混雑時に2部入替制を導入
- ・夏季プール時ミスト扇風機の設置
- ・夏季プール時屋外に休憩スペース設置
- ・ドリンクの自動販売機を設置
- ・アイスの自動販売機を設置。

【スポーツセンター】

- ・スポーツ用品の販売に加え要望の多いドリンクを販売継続
- ・卓球ラバーの張替を無料開催
- ・トイレに靴のまま履けるスリッパを継続設置

【球技場】

- ・夏休み期間 7 月 21 日～8 月 24 日まで、朝 7～9 時枠の早朝開場を実施
- ・スクールの開講・休講情報を LINE@にて円滑に案内
- ・夏季に熱中症対策としてミスト扇風機を設置、塩飴、経口補水液の無料配布を実施
- ・蚊取り器の無料貸出しを実施
- ・熱中症対策や大会備品運搬の負担軽減を図って、テントを設置
- ・駄菓子類の商品数のラインナップを増やしサービス向上

【庭球場】

- ・夏季に熱中症対策として、塩飴、経口補水液の無料配布を実施
- ・屋外コート利用時の蚊対策として、各コートに蚊取り機を設置
- ・熱中症対策や雨除けとして日除け付きベンチを設置

○陳列館ホール他 2 施設

- ・ご利用者様の利便性向上を目的とし、附属展示場内に自動販売機を設置
- ・予約状況の迅速な更新により、空き情報を速やかに利用者様に開示できた。
- ・SNS を開設し、施設情報などを発信し利用者様にわかりやすい情報発信ができた。

○鶴見緑地馬場

- ・指定管理者であるエルミオーレとして、自社で管理・運営する施設（鶴見緑地乗馬苑も含む）に対応する会員向けスマートフォンアプリを開発し、予約の受付や管理、騎乗券の管理、お知らせやニュースの配信、ポイントの獲得などのサービスをアプリ内で行えるように対応
- ・公式ラインアカウント登録者に対し、一般の利用者向け乗馬苑の新着情報を配信
月例のポニーのふれあい広場の日程などの案内や、エサやり体験無料クーポンなどの配信も行い、リピーターの増加に貢献
- ・意見箱やホームページ上のメールによるご意見、要望、質問の受付だけでなく、ライン公式アカウントの 1:1 トークからより気軽に意見や、質問をして頂けるよう対応
- ・利用者にスマートフォンで QR コードを読み取っていただき、そこからアンケートの投稿ができるよう対応
- ・質問に答えていく事で満足度や意見、感想を一括して把握する仕組みの提供
- ・集めた情報は内部で分析、検討し、新たな業務改善へと反映
- ・施設内だけでなく、鶴見緑地公園内への出張イベントの実施

(3) 許可施設

○駐車場

- ・（継続）混雑が予想される時間帯（14 時～17 時）に精算機付近で立哨を行い、退場する車両混雑の緩和に努めた。
- ・（継続）割引対象者に気軽にご利用いただけるよう、精算機以外にパークセンター事務所でも割引手続きが実施出来るよう、エンコーダ（磁気情報上書き機）を設置している。

○売店

- ・（継続）1 月 1 日の山のエリア早朝開場に合わせて売店を 6 時よりオープンし、ぜんざいや甘酒等のホットメニューを販売した。

4-2 利用促進の取組み

(1) 公園全体及び一般園地

- ・(継続) 鶴見緑地広報誌「つるみ〜つ」の作成、配架
- ・(継続) ホームページ上での発信 (Instagram、Twitter のリンク添付)
- ・(継続) フリーペーパー (SUUMO、K PRESS 等) への記事掲出 (新設遊具、バラ園等)
- ・(継続) SNS 【Instagram (フォロワー7,797人※昨年度+2,649人)、Twitter (フォロワー3,808人※昨年度+1,171人) 令和5年3月31日現在】を活用し情報を発信
- ・(継続) 鶴見区担当者との連携による広報つるみへのイベント掲載
- ・(継続) 三井アウトレット大阪鶴見及び大阪城公園と連携し「スマイルパークフォトコンテスト」を開催
- ・(継続) 新たな園内移動手段として「つるモビ」(トヨタ C+walk T)を導入し、より多くの人が広大な園内を自由に楽しめる仕組みを作った
- ・(新規) 鶴見緑地の自然を活用したイベントの実施 (つるみめぐり、タラヨウの葉を使ったクリスマスカードづくり)

(2) 有料施設

咲くやこの花館

- (広報・PR)
 - ・プレス等による広報活動の充実
掲載：新聞 27 件、TV24 件、雑誌 23 件、WEB112 件、フリーペーパー49 件、ラジオ 8 件、地下鉄長堀鶴見緑地沿線での掲出
 - ・イベント広報物の学校配布 (春・夏・冬)
 - ・Youtube 動画での PR
 - ・SNS (ツイッター：フォロワー数 13,500※昨年度+1,500 人、インスタグラム：フォロワー数 5,500※昨年度+1,200 人)
※令和5年3月31日現在
 - ・各イベント時にチラシ、ポスター作成し配架 (他植物園 30、市内施設 60、公園 50、他施設 20、マスコミ 30)
 - ・日本植物園協会発行誌での植物園紹介
 - ・公園の来園者への PR
花蓮・睡蓮展を館内から館の外 (前池) にて展示
- (配付物)
 - ・カレンダー作成 アンケート回答者に無料配布
 - ・他施設でのグッズ販売
(大阪市自然史博物館・鳥取県立博物館・富山県中央植物園・六甲高山植物園)
- (オンラインでのサービス)
 - ・オンラインでの PR 拡充
オンラインショップ (グッズ販売・オンライン教室)
フニーバオバブ開花のライブ生配信 (インスタライブ)
日本植物園協会での PR 動画配信
インスタフォトコン開催
- (イベントの実施)
 - ・イベント時の飲食出店及びクリエイターの出展の充実
 - ・イベントでのオリジナルワークショップの充実
 - ・スパイス展では、「Whole Earth Carry〜カレーは地球を救う〜」を同時開催。関西の人気スパイスカレー店による出店
 - ・関西文化の日 (入館無料) を実施
 - ・阪神高速 ETC 乗り放題パスへのクーポン協賛提携
 - ・大阪市プレミアム商品券対応施設への加盟 ・三井アウトレットパーク大阪鶴見グッズ提携
 - ・地下鉄掲載 (無料) & 冊子掲載 によるスポンサーの協力
 - ・近畿日本ツーリスト 校外学習スポット教育旅行用資料提供
 - ・うめきた外庭 SQUARE GreenNightMarche イベントへの協力で咲くやこの花館を PR
 - ・世界らん展 2023 に コブラオーキッド展示協力で咲くやこの花館を PR

○鶴見緑地パークゴルフ場

- ・鶴見区つる魅力検定協賛。優待券提供で新規入場の機会創出を図る
- ・自治会、月例、ミズノ各大会開催告知ポスター掲示。愛好者の参加促進とコミュニティーの場を創出
- ・新規利用者に対しては、パークゴルフアドバイザー等の担当者がルール・マナーを説明し、プレーのスムーズな進行を図る
- ・お子様連れの利用グループには可能な限り担当者が同添。事故や怪我の未然防止を励行する
- ・団体利用の促進（校外学習等への積極対応）

○鶴見緑地球技場他 4 施設

- 【共通】
- ・ホームページと teams を連携活用した WEB 問合せの継続実施（利用問合せ・自主事業募集含む）
- ① 教室事業へ体験申込をホームページから受付可能
- ② Web からのスクール・利用問い合わせを受付可能
- ・広報つるみへ積極的に情報を提供し活用
- ・鶴見緑地公園内会報「つるみーつ」に情報を掲載
- ・鶴見区内他施設へのチラシ配布依頼（鶴見区役所・駅・老人福祉センター・子育てプラザ等）
- 【プール】
- ・プールでは繁忙期の土日とお盆期間の開館時間を早めて運営
- ・繁忙期におけるコロナ対策として入替制を導入
- 【スポーツセンター】
- ・12 月 28 日の休館日を感謝開放 DAY として開館
- 【球技場・運動場】
- ・新型コロナウイルス等によるキャンセル枠への、利用誘致活動
- ・SNS (Instagram、Facebook、LINE@) を活用してスクール・イベントの広報
- ・球技場の月曜日の休場を臨時開場
- ・スクールの無料体験会（鶴見緑地フェスタ）を実施して、定期開催教室の広報
- ・スクールパンフレットを作成し、イベント時などに配布し広く告知
- 【庭球場】
- ・庭球場の 11 月～3 月の供用時間を延長し 21 時まで開場

陳列館ホール他 2 施設

- ・公園ホームページにて広報を実施
- ・施設の SNS アカウント開設し、情報発信をした。
- ・予約情報の迅速な更新。
- ・申請書提出から承認までの時間を短縮することで、スムーズな予約ができた。

鶴見緑地馬場

- ・昨年に引き続き乗馬教室にて乗馬の技術の講習だけでなく、中学生以下のジュニア向け乗馬プログラムの提供。ジュニアの育成のため、小学生と中学生を対象に体験乗馬教室を実施。馬に乗る技術だけではなく馬に触れ合うことで心の育成も担っている。
- ・エルミオーレ専用アプリを採用することにより、アプリ利用者に随時、乗馬苑のお知らせをリアルタイムで配信することができるようになった。
- ・フェイスブックや、ツイッター、インスタグラムによる、乗馬苑の日常の記事の投稿。乗馬苑のパンフレットなどとは違い普段の馬の生活や遊びに来られたときの楽しみ方などを発信して乗馬苑へ来苑したくなる記事を更新している。
- ・鶴見緑地駅からの送迎バスを運行し、利用者から好評を得ている。

(3) 許可施設

ア 既存園地駐車場

- ・キャッシュレス決済を導入しました。

イ 既存売店

- ・キャッシュレス決済を導入しました。

4－3 施設の利用状況

4－3－1 施設の利用状況

(1) 有料施設

※別紙 施設利用状況参照

(2) 許可施設

ア 既存園地駐車場

中央第一駐車場

月別	利用台数（台）	
	今年度	昨年度
4月	11,346 台	7,077 台
5月	13,357 台	118 台
6月	8,935 台	1,916 台
7月	9,667 台	7,967 台
8月	11,480 台	7,962 台
9月	9,265 台	5,832 台
10月	9,283 台	8,542 台
11月	8,411 台	8,117 台
12月	8,894 台	6,310 台
1月	10,431 台	5,909 台
2月	9,944 台	4,864 台
3月	15,984 台	9,998 台
年計	126,997 台	74,614 台

中央第二駐車場

月別	利用台数（台）	
	今年度	昨年度
4月	10,221 台	7,585 台
5月	11,157 台	0 台
6月	6,468 台	1,756 台
7月	5,933 台	6,344 台
8月	6,250 台	5,690 台
9月	6,457 台	7,346 台
10月	8,437 台	8,692 台
11月	7,690 台	7,571 台
12月	5,382 台	4,529 台
1月	7,069 台	7,220 台
2月	5,852 台	5,899 台
3月	10,400 台	8,897 台
年計	91,316 台	71,529 台

南駐車場

月別	利用台数（台）	
	今年度	昨年度
4月	4,939 台	3,267 台
5月	5,799 台	1,083 台
6月	4,204 台	1,696 台
7月	5,414 台	5,245 台
8月	3,950 台	3,881 台
9月	5,377 台	4,054 台
10月	5,777 台	4,000 台
11月	5,139 台	4,159 台
12月	4,425 台	3,372 台
1月	4,570 台	3,669 台
2月	1,828 台	2,882 台
3月	3,993 台	4,375 台
年計	55,415 台	41,683 台

西駐車場

月別	利用台数（台）	
	今年度	昨年度
4月	2,084 台	1,507 台
5月	2,358 台	0 台
6月	1,471 台	396 台
7月	1,209 台	1,259 台
8月	1,316 台	1,311 台
9月	1,695 台	1,514 台
10月	2,179 台	1,795 台
11月	1,563 台	1,856 台
12月	1,193 台	1,026 台
1月	1,413 台	1,170 台
2月	1,140 台	1,022 台
3月	2,042 台	1,793 台
年計	19,663 台	14,649 台

北西駐車場

月別	利用台数（台）	
	今年度	昨年度
4月	3,848 台	3,143 台
5月	4,454 台	812 台
6月	2,433 台	1,256 台
7月	1,944 台	2,428 台
8月	2,006 台	2,245 台
9月	2,469 台	2,988 台
10月	4,362 台	3,415 台
11月	5,749 台	3,386 台
12月	5,321 台	2,462 台
1月	5,988 台	2,882 台
2月	5,263 台	2,842 台
3月	6,560 台	3,996 台
年計	50,397 台	31,856 台

(1) 行為許可件数

月別	有料				免除	
	件数 (件)		使用料 (円)		件数 (件)	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
4 月	47 件	52 件	496,320 円	549,120 円	1 件	1 件
5 月	70 件	31 件	730,240 円	327,360 円	0 件	0 件
6 月	30 件	21 件	307,840 円	221,760 円	9 件	10 件
7 月	23 件	30 件	242,880 円	316,800 円	0 件	1 件
8 月	22 件	19 件	232,320 円	193,020 円	0 件	0 件
9 月	18 件	9 件	163,230 円	95,040 円	19 件	8 件
10 月	36 件	52 件	381,620 円	540,020 円	0 件	3 件
11 月	28 件	46 件	284,020 円	472,670 円	0 件	2 件
12 月	15 件	23 件	154,280 円	233,780 円	0 件	8 件
1 月	10 件	5 件	105,600 円	52,800 円	0 件	0 件
2 月	4 件	12 件	42,240 円	117,620 円	0 件	0 件
3 月	38 件	20 件	392,600 円	339,380 円	8 件	9 件
年計	341 件	320 件	3,533,190 円	3,459,370 円	37 件	42 件

4-3-2 利用者満足度の把握と反映状況

(1) 利用者満足度の把握と反映方法

施設名	年間 調査回数	調査対象・調査 方法・回答数	主な意見	意見の反映方法
一般園地	1 回/年	11 月に行う周年イベントの来園者に対し、QR コードを用いた Web で実施。	おしゃれなカフェが欲しい	1 月にスターバックスをオープン、 3 月に BOTANICAL HOUSE をオープンした
			ゴミ箱を設置してほしい（増やしてほしい）	イベントの際には事業者もしくは指定管理者にてごみステーションを設置しているが、常設のごみ箱は大阪市指示により設置する予定はない。
咲くやこの花館	毎日	紙媒体と Web の両方でアンケート実施。アンケート台を常時設置し紙媒体は毎日回収しています。 回答数 491 件 ※紙 7 : Web 3	「世界の植物がみれてよかった」、「イベントが楽しかった」などのポジティブな意見が大半を占めているが、「植物ラベルを大きくしてほしい」などの意見	樹木ラベルを増設した。 植物についての説明ブラックボードを設置した。
陳列館ホール	一催事/1 回	利用時に紙媒体で実施。陳列館・水の館・むらさき亭合わせて 31 件	設備老朽化や備品に対する意見が多い	修繕計画を立て、修繕・更新実施
水の館ホール	一催事/1 回	利用時に紙媒体で実施。陳列館・水の館・むらさき亭合わせて 31 件	設備老朽化や備品に対する意見が多い	修繕計画を立て、修繕・更新実施

茶室むらさき亭	一催事/1回	利用時に紙媒体で実施。陳列館・水の館・むらさき亭合わせて31件	設備老朽化や備品に対する意見が多	修繕計画を立て、修繕・更新実施
鶴見緑地馬場(乗馬苑)	4月～5月/1回	一般及び会員WEBアンケート、アプリアンケート180件	馬にエサをあげて楽しかった。馬にふれあえてよい経験になった。	放牧スペースに放牧して来園者が馬を近くで見れるように展示
鶴見緑地パークゴルフ場	年/1回	施設利用者にアンケート用紙を配布(113名より回答あり)	・コース内雑草が多い ・混雑時の適正な指導を要望	・雑草除去等のコースメンテナンスは日々実施済 ・担当者の巡回を強化する
鶴見緑地球技場	10月～11月/1回	施設利用者100名にアンケート実施	・子ども乗せ自転車の優先置き場がほしい ・イスが欲しい	・優先区画として臨時駐輪場を設置 ・アルミイスを購入、設置
鶴見緑地庭球場	11月/1回	施設利用者108名にアンケート実施	・施設の設備や予約に関する内容	・修繕や備品の交換など

利用者満足度と結果分析

ア 一般園地及び有料施設

施設名	利用者満足度									
	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
一般園地	58.6%	53.9%	36.9%	40.6%	0.9%	5.1%	0.0%	0.5%	3.6%	0.0%
分析	令和4年度アンケート調査における利用者満足度は「とても満足」「満足」を合わせると95.5%となり、満足度としては昨年(94.5%)よりも増加した。									

施設名	利用者満足度									
	満足		やや満足		普通		やや不満		不満	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
咲くやこの花館	72.3%	66.0%	22.6%	23.0%	1.6%	5.1%	2.0%	0.0%	1.4%	6.0%
分析	アンケート結果では、「とても満足」が72.3%で「満足」と合わせると94.9%となり、不満と答えた方は3.4%でした。全体の雰囲気や、スタッフの対応、植物の見やすさ、植物の管理が行き届いているなど総体的には満足が多い結果となった。 アンケートのご意見についても、「楽しかった、また来たい」「植物の手入れが行き届いている」「舞踊などが鑑賞できてよかった」など好意的なものが非常に多かったが、やや不満な声として、コロナで制限していたツアーの土日実施について要望があったため、緊急事態宣言解除後、土日も実施した。 館内の順路がわかりづらいとのご意見もあり、各所に現在地看板を設置するなどアンケートの意見により改善を行った。									

施設名	利用者満足度									
	満足		やや満足		普通		不満		無回答	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
陳列館ホール	80.0%	50.0%	20.0%	30.0%	0%	12.0%	0%	0%	0%	0%
水の館ホール	76.4%	50.0%	23.6%	30.0%	0%	10.0%	0%	0%	0%	0%
茶室むらさき亭	25.0%	76.0%	75.0%	18.0%	0%	5.0%	0%	0%	0%	0%
分析	ご利用いただいた団体様には満足いただけている。しかし満足の中でも設備の老朽化や備品レンタルなどに関してご意見をいただいている。可能な限り対応していき、今後の顧客満足を高い水準で維持していく。									

施設名	利用者満足度									
	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
鶴見緑地馬場	60.0%	63.0%	26.0%	26.0%	13.0%	10.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%
分析	アンケート結果では、「満足」が 60%で「やや満足」と合わせると 86%となり、「不満」、「やや不満」と答えた方は 14%にとどまった。満足意見は馬にエサがあげることができて楽しかった。馬に触れ合えてよい経験になったなどに対し、不満意見はすぐに埋まってしまっており予約が取りにくい。体験乗馬教室の受講人数を増やしてほしいという意見があった。状況を見て内容を検討していく。									

施設名	利用者満足度									
	とても満足		満足		普通		不満		無回答	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
鶴見緑地パークゴルフ場	45.1%	45.2%	50.4%	44.2%	4.4%	6.7%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%
分析	・「満足」と「やや満足」計で95.6%、「やや不満・不満」は0.0% ・土日祝等の混雑度合いや時間帯が分からないという意見は聞かれる。予約制ではないため対応にも限界はあるが、各種コンペや団体利用の情報等を積極的に提供、見える化することで利用の分散を図っていきたい ・仮設トイレ増設等のハード面は今後の課題									

施設名	利用者満足度									
	とても満足		満足		普通		不満		無回答	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
鶴見緑地地球技場	48.0%	55.9%	44.0%	25.8%	7%	0.1%	1.0%	0%	0%	18.2%
分析	満足度の割合が9割を占めている結果として、利用者に対しての対応が迅速にできている部分が要因である。また、グラウンドを綺麗に保てていることが満足度の高い要因でもある。									

施設名	利用者満足度									
	とても満足		満足		普通		不満		無回答	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
鶴見緑地庭球場	18.6%	40.0%	74.2%	50.5%	6.2%	7.6%	1.0%	1.9%	0%	0%
分析	トイレの洋式化やロビーなど共用スペースの清潔感の維持と不良備品の速やかな交換などが、利用時の好印象と 92.8%の方々に満足いただいた要因と分析。									

施設名	利用者満足度									
	とても満足		満足		普通		不満		無回答	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
鶴見緑地運動場	48.0%	55.9%	44.0%	25.8%	7%	0.1%	1.0%	0%	0%	18.2%
分析	満足度の割合が 9 割を占めている結果として、利用者に対しての対応が迅速にできている部分が要因である。また、グラウンドを綺麗に保てていることが満足度の高い要因でもある。									

施設名	利用者満足度									
	とても満足		満足		普通		不満		無回答	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
鶴見スポーツセンター	40.9%	36.4%	48.6%	48.2%	8.6%	13.6%	1.9%	1.8%	0.0%	0.0%
分析	利用頻度にかかわらずアンケート集計では 9 割弱の方が満足いただいている。非常に満足を向上できるように、備品等も充実・更新を計画し、次年度の更なるサービス向上に努める。									

施設名	利用者満足度									
	とても満足		満足		普通		不満		無回答	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
鶴見緑地プール	45.5%	55.9%	42.7%	37.3%	8.2%	5.9%	0.9%	0.0%	2.7%	1.0%
分析	10 代から 70 代まで幅広くご利用いただき、88.2%の方々に満足いただいている。空調が寒いとの声もいただくが、空調工事を実施したことでさらなる満足度向上に期待。									

4-4 魅力向上事業・自主事業の実施状況

4-4-1 魅力向上事業実施状況

(1) ハード事業

ア 大芝生再生（継続）

令和3年度に実施した芝生再生について継続して養生や散水を行い芝生としての定着に努めた。概ねの定着が見られたため、魅力向上事業としての取り組みは一旦区切りとすることができるとなったが、引き続き芝生としての管理を行い、魅力的な広場空間を維持する。

イ 水質浄化（継続）

令和3年度に実験まで行った大池の水質浄化については、令和4年度の実施には至らなかった。既存の浄化設備が破損し改修・更新の目処が立たないことから、設計していた新規水質浄化の性能では改善できず延期となった。ウに記載のBOTANICAL HOUSEがオープンしたこともあり早期の水質浄化が望まれるため、引き続き水質浄化に向けて取り組む必要がある。

ウ レストハウス建替え（BOTANICAL HOUSE）

花博当時から運営されてきたレストハウスつるみが2020年11月に閉店し、その後協議を重ね2023年3月25日にオープンさせた。令和4年度は6日間の営業のみでしたが、屋号のとおりボタニカルをテーマにしたメニューや公園の雰囲気にあった設えが人気となり、6日間で1,800人に利用いただいた。下記エ・オのカフェと合わせ、令和5年度は一層の「公園の施設」として定着・融和するようイベント等の連携を深めていく。

エ 中央第一駐車場 カフェ新築（スターバックスコーヒー店）

2023年1月11日にオープンさせた。公園のメイン出入口である中央口付近に設置したことで車での来園者だけでなく電車や自転車での来園者にも多く利用いただいております、ドライブスルーについても警備員を配置したこともあり大きな混雑はなく順調に稼働している。令和4年度は2か月+21日運営し、レジ通過で合計52,203人に利用いただいた。

オ 北西駐車場 カフェ新築（コメダ珈琲店）

2022年10月19日にオープンさせた。子どもの森を利用する来園者の方や乗馬苑の利用者を中心にご利用いただいております、パークセンターが作成しているリーフレット「つるみ〜つ」の配架消費状況から、公園へ誘引するきっかけとしても機能している。令和4年度は5か月+13日運営し、レジ通過で合計77,221人に利用いただいた。

カ 鶴見新山の眺望確保

2月〜3月に実施予定だったが業者手配や樹木の状況から次年度へ持ち越しとなった。

キ ユニオン・スクエア・ガーデンの壁面洗浄

7月に実施。大阪市にて発注された同改修工事の終了に合わせて洗浄を行い、官と民で連携した魅力向上となった。景観も良くなったため楽器演奏などを楽しむ来園者でにぎわいを取り戻した半面、子どもたちのパルクールなどに使用されることが増えたため巡回時の声掛けなどの頻度が増えた。安全を第一に考え、快適に利用いただける運営を心掛けたい。

ク 日本庭園の景観改善

2月～3月に実施予定だったが業者手配や樹木の状況から次年度へ持ち越しとなった。

運動場

ア 運動場芝生新設（継続）

令和4年3月に人工芝化した第2球技場の稼働率が、昨年の54.8%から62.2%まで伸び、以前よりも常連団体や新規団体の予約が増加。夜間の稼働率は、昨年の46.6%から84.7%まで大きく伸び多くの方に利用いただいた。

(2) ソフト事業

一般園地（詳細は別紙4－4－1参照）

ア アウトドアフィットネス

一般園地や既存施設を活用したフィットネス事業で、パークヨガ、スタジオヨガ、ノルディックウォークを行う。10月に販促イベントとしてアウトドアフィットネスフェスを開催し、集客増に努めた。

イ せせらぎマルシェ

来園者の増加と来園者への利便性向上のため毎週日曜日に物販やキッチンカーの出店を行うマルシェを開催。8月のみ大阪モデル赤信号点灯によりイベントが中止となったが、トータルレジ通過で約60,000人の集客があった。

ウ muro 式がくげいかい

キョードーと連携し舞台等が利用できない状況の中、屋外でムロツヨシ主演の公演を行うイベントを誘致。昨年は中止となったが、今年はパーゴラ広場にてトラックを活用した移動式の舞台を設置し野外公演を行った。

エ はらぺこ CIRCUS（提案書内、肉フェス・餃子フェスの代替）

キョードーとMBSが連携し、関西人のウマイ！が集まるフードフェスを大芝生で初開催。飲食店舗の他にステージや飲食スペースを設け、5日間で約110,000人が来場し賑わった。

オ 園内ガイドツアー つるみめぐり

園内の様々な見どころをパークセンタースタッフが案内するガイドツアーを新たに企画。7月はハス・スイレンに特化したツアー、10月はつるモビで巡る園内のツアーを開催。少人数制のためパークセンタースタッフとの距離が縮まるイベントとなった。

カ つるみっこパーク夏まつり

新設遊具広場の愛称が決定したことを記念したナイトイベント。ジャイアントドームをイルミネーションで飾り付けし、手持ち花火イベントやキッチンカーを出店。初日は手持ち花火に長蛇の列ができるほど人気となり、2 日目は雨天のため中止した。

キ 採蜜体験イベント

ミツバチの生態と鶴見緑地産生はちみつ TSURUMITSU が採れるまでを親子で体験できるイベントを初開催。巣箱の観察からはじまり蜜蝋切り、テイスティング、瓶にはちみつを詰めるまでの作業を行い、貴重な体験として喜ばれた。

ク 星空観賞会

ピクセンによる手作り望遠鏡ワークショップと星空観賞会を初開催。星空観賞会は事前申込ですぐに定員に達する程人気があった。当日は直前まで曇天が危ぶまれたが、タイミング良く雲が晴れ、木星と土星を観察することができた。

ケ ナイトピクニック

夜間は閉鎖している山のエリアの一部を臨時開園しライトアップしたナイトウォークやマルシェ、コンサートを開催。ナイトウォークは入場料 100 円で普段は入れない夜の園内に入れるということもあり満足度は高く、開園前から待ち列ができて途切れない状況だった。

コ 鶴見緑地フェスタ

指定管理者が主催する年 1 回の大型イベントとして開催。マルシェやスポーツ体験、近隣企業や鶴見消防署と連携しイベントを開催。また昨年好評だった熱気球係留フライトを再び実施し人気を博した。2 日間の来園者数は約 30,000 人であった。

サ 防災 Action 出張牡蠣小屋

東日本大震災 3.11 に合わせて、風評被害に遭った宮城県石巻の牡蠣を使用した復興支援活動と災害への備えを後世へ伝える活動として、復興支援の写真や防災に関するクイズを掲出しながら牡蠣を食べることができるイベントを開催した。9 日間の開催でレジ計 5,500 人にご利用いただき、約 19,000 千円の売上となった。

咲くやこの花館

ア 既存イベントのブラッシュアップ

- ・「サボテン展」では、メキシコなどの現地の飲食店や雑貨店、ステージイベントを実施して、会場を盛り上げた。また、サボテン・多肉の専門店による販売会を実施した。
- ・「虫を食べる植物展」では、「アリの巣植物展」や「昆虫教室」などを同時開催し、植物と虫との共生についても学べる展示を実施した。
- ・「きのこ展（1月）」に加え、「こけ展」と同時開催することで、相乗効果を図った。
- ・「カカオとコーヒー展」では、企業とタイアップし、食育事業を実施した。また、バリスタ世界チャンピオンなどコーヒーにまつわる第1人者によるセミナーを多数実施した。

イ 新規イベントの実施

- ・植物販売系イベント SakuyaGreenJam を実施
ネット販売のみのショップや植物愛好家が集まる有名店舗が出店し、初のロング企画で個性の強い植物から珍種、ランや食虫植物など全国各地の有名店が週替わりで登場した。
- ・山野草展示販売会を10月に実施。約250鉢の秋の山野草を展示。山野草苗販売や相談コーナー、大阪山草会会員による販売会を開催した。
- ・11/3 夜間特別開館 ナイトワヤン開催。夜の静寂に包まれた植物園が幻想的にライトアップされ、普段とは違う趣を味わっていただいた。人形芝居ワヤンは館内の大ホール(フラワーホール)ステージで6mのスクリーンに投影され、ガムランの生演奏とともに迫力のある上演を提供した。

【別紙】4-4-1 魅力向上事業実施状況のとおり

4-4-2 自主事業実施状況

【別紙】4-4-2 自主事業実施状況のとおり

4－5 施設の有効利用

4－5－1 他施設との連携

一般園地

(1) 園内施設との連携

- ・(継続) 鶴見緑地フェスタに合わせて各施設の出店及び施設イベントを開催。咲くやこの花館のスパイス展、乗馬苑のふれあいコーナー等様々なコンテンツ連携を行った。
- ・(新規) 新規オープンしたコメダ珈琲、スターバックスに園内情報誌つるみ〜つを配架し、情報発信と園内への誘引とした。また、コメダ珈琲、スターバックスそれぞれの利用者かつ駐車場利用者には駐車料金が一定時間無料になるサービス券を配布する連携を行った。

(2) 周辺施設との連携

- ・(継続) なにわ ECO スクエア主催の ECO 縁日の実施連携、調整を行った。
- ・(継続) なにわ ECO スクエアの指定管理者である環境事業協会と連携し、カマキリ博士で有名な渡辺先生を招致した昆虫観察会を行った。
- ・(継続) また、訓練場所としてパークセンターバックヤードを貸し出し、より強固な連携を目指しています。
- ・(新規) 鶴見消防署と連携し、年間約 100 件の要救護者の場所を特定しやすくするため園路灯に消防雑学月の位置番号を取り付けしました。
- ・(新規) こどもホスピスとの連携として、まだ花目が見られるコスモスの植え替え撤去にあたり、こどもホスピスを利用している子どもと家族がコスモスを持ち帰るイベント「コスモスとーる」を開催しました。さらに残りのコスモスを一般の来園者に引き抜いてもらい、参加費全てをこどもホスピスへ寄附するイベントを実施しました。

(3) 市内類似施設との連携

大阪城公園、難波宮跡公園、長居公園、天王寺公園と管理運営情報や園内イベント情報を共有し、管理水準の認識共有と公園ごとの特徴を活かした魅力向上を図るための会議体を組織した。

令和 5 年度以降には健康増進と魅力発見を目的とした各公園を繋ぐウォークラリー等、5 公園が連携したイベントの実現を目指している。

咲くやこの花館

(1) 園内施設との連携

既存駐車場の駐車券（障がい者割引）の対応。

園内バスに、館の情報をアナウンスで広報連携

(2) 周辺施設との連携

大阪メトロと広報での連携、イオンモール鶴見緑地との広報での連携および出張ワークショップ開催、周辺の飲食店との広報での連携（ル・クロワッサン）

地下鉄長堀鶴見緑地線との連携により 14 駅でのイベントポスター等の掲出及びチラシの設置

(3) 市内類似施設との連携

八幡屋スポーツみどりフェスタへの PR 出店、大枝公園でのイベントへの出張販売実施を予定していたが、コロナの拡散防止のため、中止になりました。

4-5-2 地域・市民・NPOとの連携

一般園地

- ・（継続）大阪市立を中心に、保育園、支援学校、小中学校等計 127 施設の遠足ほか校外学習等の受入れと利用調整を行った。
- ・（継続）鶴見フラワークラブをはじめ、園内で活動する多くのボランティア団体や近隣有志団体の活動をサポートした。また、地域に愛される鶴見緑地だからこそ多い近隣企業のボランティア活動についても、活動場所の提供を実施した。
- ・（継続）HUBchari により園内回遊性の向上を図るとともに、認定 NPO 法人 Homedoor を通じて野宿生活者の自立支援を実施した。
- ・（継続・新規）環境事業協会と連携実施しているあわい農園※では、令和 3 年度は守口市の子ども食堂を利用する子どもと保護者の方を対象に体験学習施設の一部を活用して野菜等の収穫体験を開催したが、令和 4 年度は鶴見区の子ども食堂であるつるみのおかんの井戸端食堂との連携も開始し、鶴見緑地フェスタでは収穫した作物を参加者である子どもたちが自分たちで値付け販売するという取り組みを行った。
※あわい農園は令和 3 年 7 月に（一財）環境事業協会の企画・運営でスタートした、①都市の循環農②子ども食堂支援③はたらく支援 を目的とした事業で、鶴見緑地パークセンターとしては活動場所の支援と運営協力を行っている。
- ・（新規）鶴見緑地フェスタにて鶴見区をはじめとした近隣区・市に所在する企業の地域連携の場として企業出店ブースを用意し、近隣企業が地元の方々と交流する機会を作った。

咲くやこの花館

- ・イオンモール鶴見緑地との連携
イオンモール各階に当館掲示板を無料設置。当館からは、出張ワークショップを開催
- ・イオンモール鶴見緑地店と(株)バイオームのコラボイベント「みんなで作ろう！ “いきもの” 大図鑑」への協力
- ・イオンモール鶴見緑地とのコラボ連携 紙ウチワ 2 万枚
- ・地域連絡会、施設連絡会
情報交換や、各地域でのイベント告知回覧の配布協力。
- ・森林インストラクターの会によるワークショップ開催
- ・認定 NPO 法人ボルネオ保全トラスト・ジャパンとの共催事業
- ・NPO 昆虫学習館による「植物と昆虫教室」の開催
- ・博物館学芸員実習の受入れ（近大 4 名、京都芸大 1 名、広島大 1 名、大阪成蹊大 1 名 横堤中教員 1 名）
- ・大阪市内の中学校の「職場体験」の受け入れを実施
- ・大阪ビジネスカレッジ専門学校
今年は、コロナで特に実習場所がなくなった学生とともに、イベントの設営・ワークショップを開催し、学生の活動の場を提供。
- ・大阪の会社「東洋シール」の協力によるグッズ展開
- ・三栄源エフ・エフ・アイ株式会社による「収穫体験」事業の種子提供及び情報交換
- ・ワイクラデイズ（ハワイイベント）への協力
- ・守口市緑花推進協議会外部研修の為に講師協力
- ・水戸市植物公園へトックリキワタ穂木提供
- ・北海道大学 メタコレクション適用の為に研究への協力
- ・神戸大学 サボテン科植物 CAM 型光合成の解明の為に研究への協力
- ・海遊館からの熱帯雨林エクアドル水槽の植栽展示についてアドバイザー協力
- ・日植協夏休みオンラインシンポジウムへの発表
- ・咲くやこの花中学校科学部 シダ植物の胞子散布発芽についての研究協力
- ・大阪公立大学 果実の色と生活形の関係 研究への協力
- ・守口市中部コミュニティーセンターへの協力 サボテン寄せ植え講座開催
- ・視察への協力、他都市交流＝神代植物園 11 月 ・静岡市視察 11 月 とっとり花回廊 1 月 東山動植物園 1 月 山口県ときわミュージアム 1 月 広島市植物公園 2 月 京都府立植物園管理方法視察 3 月
- ・大阪公立大学附属植物園へサガリバナ 6 本 分譲協力
- ・あわじグリーン館へパイナップル苗分譲協力
- ・「TEAM EXPO 2025」プログラムへの登録 共創チャレンジ 3 / 1 5
- ・フルーツ展

タイ国政府観光庁大阪事務所、台北大阪経済文化弁事處、在本邦インドネシア共和国大使館、インドネシア共和国商業省協力、台湾観光局、台湾観光協会大阪事務所

・食虫展

非営利団体 昆虫科学教育館、基礎生物学研究所、ターナー色彩株式会社、認定 NPO 法人ボルネオ保全
トラスト・ジャパン、VVV-Craft (ヴィークラフト)、ミュゼ株式会社 コンディショニングサロン
&Cuara・アロマセラピーサロン LUNE、アロマてとて、かめたん工房、ワイエスコポーレーション、
株式会社明治、

一般社団法人ユニバーサルデザイナーズ協会、錫匠、地球温暖化防止活動推進員(大阪府知事委嘱)、
日本苔緑化研究所、兵庫県立フラワーセンター、伊藤蟻植物農園

・クリスマスローズ展

横山園芸、陽春園植物場、童仙房、花郷園、英国シクラメン協会日本支部、日本クリスマスローズ協会

・スパイス展

在本邦インドネシア共和国大使館・インドネシア共和国商業省

エスビー食品株式会社、株式会社カネカサンスパイス、公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会、
大阪市立自然史博物館、株式会社松栄堂、薫習館、全日本カレー工業協同組合、高砂香料工業株式会社、
武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園、テーオー食品株式会社、株式会社栃本天海堂、
日本新薬株式会社、山科植物資料館、ハウス食品グループ本社(株)、ハチ食品株式会社、
ベル食品工業株式会社、三好アグリテック株式会社、森野サンプル

・コケ展

日本蘚苔類学会、岡山コケの会関西支部、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、国立極地研究所、
奥入瀬自然観光資源研究会、北八ヶ岳苔の会、一般社団法人 屋久島アカデミー、Mosslight-LED、
苔こっこ、苔・なっこ、Japorium®、伊勢の苔玉やさん、城東社中、金木屋、With earth、蘚苔家、
Moss forest、ジャパンモスファクトリー、モスファーム、江津苔プロジェクト、gracilis-works、
株式会社岩出菌学研究所

・こども絵画展

大阪市教育委員会、大阪市立幼稚園 PTA 連絡協議会

・ばら展

おくだばらえん、大阪ビジネスカレッジ専門学校、山川ばら園

・カカオとコーヒー展

株式会社明治、一宮物産株式会社、一般社団法人全日本コーヒー協会

・ハンギングバスケット展

(一社)日本ハンギングバスケット協会 大阪支部、花博フลาวークラブ、(株)伊藤商事
一般社団法人フลาวースサイエティー

4－5－3 ふらっとフォーラムの運営

各施設が開催するイベントや工事に関する情報共有や鶴見緑地をより良くするための活動の場として来園者に対し鶴見緑地を一体的に楽しんでもらうための組織として活動した。

主な活動としては令和３年度からの継続として新設遊具広場（つるみっこパーク）の愛称決定及び愛称決定に伴う記念イベント「つるみっこパーク夏祭り」の企画や、イベント誘致の声が多かった食フェスとしてはらぺこ circus の開催、３年ぶりの開催となった鶴見区民まつりの調整など、大阪市・指定管理者・周辺施設管理者・地域振興会（市民）が一丸となって運営できた。

※組織構成員は別紙

5 収支状況

5-1 収支内訳

※別紙 収支総括表参照

5-2 収支計画からの増減理由

○咲くやこの花館

【入館料収入】

- ・4・5月のゴールデンウィーク期間に、「熱帯フルーツ展」を開催し、天候に恵まれたことと、公園内での大型イベントによる来場者が多く来館し、地元の方にも多くご来場いただいた。
- ・「虫を食べる植物展」「こけ展」「カカオとコーヒー展」で小学校向けチラシを学校通送により全児童に配布。9月に珍しい植物の販売会を行い、目標額を上回る入館料収入があった。
- ・10月においても昨年好評を得た「刺激スパイス展」を行ったが、全国旅行支援の影響か、入館料収入は昨年ほど伸びなかった。
- ・1月は昨年に引き続きこけ展を実施し、同時に「きのこマーケット」を開催、目標を上回る入館料収入となった。
- ・年間を通じて、昨年度の入館料収入より850万上回った。

【事業収入】

- ・教室についてはコロナ対策で受講生を予定の半分以下の人数にしたが、回数を増やし、販売にも力を入れるなど工夫を行うことで目標値を上回ることができた。
- ・企画展にまつわる珍しい植物やグッズ、キッチンカーなどの出店手数料収入が昨年度より約400万上回った。
- ・レストランも昨年以上の売り上げがあった

○鶴見緑地パークゴルフ場

- ・4, 5, 6月はコロナ前水準を上回る集客があったが、12～3月は悪天候や寒波の影響により、来場者は前年比減となった。年間利用者数は昨対119%（+5181名）
- ・月例大会や自主事業大会、自治会コンペ等は計画通り実施
- ・利用料と物販売上合計は昨対119.6%

○鶴見緑地球技場他4施設

【鶴見緑地プール】

- ・収入 コロナの状況に加えて、12月から3月末まで空調設備更新工事もあり、利用料・自主事業とも大幅に目標を下回る
- ・支出 水光熱の高騰・第1期空調設備更新によるガス使用も増加したが、12月からの工事休館により、水光熱全体、消耗品他も削減

【鶴見スポーツセンター】

- ・収入 利用料はコロナ前の令和1年度に並ぶ程まで回復したが、自主事業については未だ戻らず特にマラソン等の大きなイベントの集客に苦戦
- ・支出 水光熱(特に電気)の高騰が大きく影響し原価増を助長、事務費・管理費については計画に近い状況で推移
事業経費については収入が苦戦している状況に伴い、支出も減少

【鶴見緑地球技場・運動場・庭球場】

- ・昨年度に引き続きコロナ禍ではあったが、利用者の活動自粛が減少傾向にあり、それに伴い利用料売上も増加した
- ・第1運動場が令和4年3月より人工芝化(第2球技場)により、稼働率が昨年の54.8%から62.2%まで伸び、以前よりも常連団体や新規団体の予約が増加し、好評な声をいただいた
- ・スクール生のコロナ休会が減少と共に、子どもの休会者の復帰や新規入会が多数あり、売上増加

○陳列館ホール他 2 施設

当初の緊急事態宣言以降、利用自粛が年間を通して続いたため、利用率・売上ともに減少となった。

○鶴見緑地馬場

コロナの影響により昨年度までの会員数が減少したことが原因となり今年度、入会数は対前年比 135%と多かったものの目標会員数に到達しなかったため会費収入の減少、施設使用料の減少があった。昨年度に引き続き感染防止対策から当初計画だった大規模集客の競技会および講習会、イベントの中止により利用料金収入が当初計画の 95.4%、自主事業収入は当初計画の 89.8%となり、対前年比は目的事業収入 122%、自主事業収入 114%であった。
支出は事業経費、事務費等、その他経費を内部努力にて節約したため当初計画の 76.3%であった。

5-3 利用料金収入明細

※別紙 収支明細 参照

5-4 管理経費縮減の取組み

○鶴見緑地パークセンター

- ・照明の一部消灯や冷暖房の温度設定（28℃）等によるエネルギー使用量の削減
- ・簡易な修繕については直営にて実施
- ・園地維持管理で発生した落ち葉の一部を一般来園者が進入禁止エリアとして設定している山のエリアの一部や、土がむき出しになっている雑草地等に将来的な腐葉土として散布することにより廃棄物としての排出量を削減

○咲くやこの花館

- ・光熱水費については、昨年度同様の使用量だったが、単価の上昇により前年度比 177%となった。
- ・照明の一部消灯や事務室内の冷暖房の温度設定（28℃）等によるエネルギー使用量の削減
- ・植物展示室及び事務室の照明LED化による消費電力の削減
- ・簡易な修繕については直営にて実施
- ・物価の高騰もあったが、まとめて購入するなど工夫し、昨年度より支出を抑えた
- ・修繕や購入等で外注する際には、当財団の規定に則り、入札や比較見積を実施

○鶴見緑地パークゴルフ場

- ・回数券、スコアカード、優待券等運営販促用印刷物の発注頻度見直し
- ・高木剪定他特殊業務についての内容精査と回数の削減
- ・簡易な修繕業務の内製化
- ・事務所内の空調制限や、こまめな消灯等による節電

○鶴見緑地球技場他 4 施設

- （光熱水費の削減）
- 【全施設共通】
- ・シャワー等水道関連で節水システムの採用により水道代の削減（プール）

- ・夜間の周囲灯及び館内常夜灯の適宜消灯
- ・事務所や休憩室及び会議室のこまめな消灯
- ・事務所内の空調利用の制限

【鶴見緑地プール】

- ・空調設備更新工事の期間中は水のろ過など、不要な動力は停止し削減
- ・旧空調設備機器撤去に伴い、機器点検費用も削減
(事務消耗品の縮減)

【全施設共通】

- ・紙資料から電子資料への移行実施
- ・裏紙の再利用継続
(自主事業経費の削減)

【全施設共通】

- ・教室事業チラシは、自前で作成継続実施
- ・自社作成による施設ホームページを活用し募集
{修繕費の削減}

【全施設共通】

- ・緊急的で重大な修繕は別として、簡易な修繕発生時には部品調達のみで内製修繕として実施

○陳列館ホール他 2 施設

- ・清掃業務委託料を見直し減額
- ・非常勤職員の勤務時間調整を実施し、適材適所での運営を実施した。
- ・コピー時に裏紙使用し、リサイクルを心掛けた。
- ・常に節電を心掛け、使用していない箇所の電気や空調を消した。

○鶴見緑地馬場

- ・施設修繕等をできるだけ直営で行うことで業務委託費、修繕費の経費縮減に取り組んだ。
- ・馬匹の飼料高騰により、複数の業者と提携比較し安価な業者から仕入れることで飼料費を抑えた。
- ・社内書類の電子化により、ペーパーレスにとりくんだ。不要印刷物を裏紙として再利用した。
- ・照明の点灯、消灯を管理し、無駄な照明の点灯時間を縮減して電気代を抑えた。
- ・事務所、休憩室の空調利用温度を制限し、電気代を節約した。
- ・乗馬で使う馬具等を修理して再利用することで、新たな馬具の購入費用を抑えた。

6 今年度の総括及び自己評価

○鶴見緑地パークセンター

- ・新型コロナウイルスの影響が残るも、来園者については駐車場を利用したる来園者など、遠方からの来園者は回復基調（リバウンド）とみている。
- ・指定管理者が変わった初年度から定着を狙っていたせせらぎマルシェは天候には左右されるものの、公園の賑わいとなってきた。
- ・人の集まる箇所（大芝生周辺）ではらぺこサーカスの開催や、冬季の山のエリアにてイルミネーション（ウルトラマンイルミネージュ）を開催するなど、大規模集客イベントも行い、今後の公園でのイベント開催のノウハウの蓄積に努めた。
- ・鶴見緑地の未来を考えるプラットフォーム組織「ぷらっとフォーム」の取り組みとして、新設遊具広場のネーミングを募集し「つるみっこパーク」とした。
- ・つるみっこパークの愛称決定に併せて、つるみっこ夏祭りを開催。手持ち花火体験やキッチンカーなど、多くの方に参加いただいた。
- ・魅力向上事業として10月より北西駐車場でコメダ珈琲、1月より中央第1駐車場にてスターバックスのオープン、レストハウスの跡地にボタニカルハウスと、コロナ禍で遅れていた魅力向上事業も大きく進んだ。
- ・クリスマスキッチンカーフェス（12月）や、日本の食まつり（1月）などを開催し、冬季の来園者獲得にも努めた。
- ・ナイトピクニックや、ウルトラマンイルミネージュなど、夜間は閉鎖している山のエリアの一部を開園し、昼間とは違った公園の魅力発信にも努めた。
- ・子どもホスピスの利用者に撤去予定のコスモスを持ち帰りいただくイベントやチャリティーイベントを開催し公園としての連携を深めた。

公募時に提案していた利便施設もオープンしはじめ、公園全体の利用者状況もコロナ禍前に戻りつつあるが、一方で観光業界との取り合いが発生している。平日や催事の無い休日などの来園者が減少傾向にあるようで、新型コロナウイルスが5類に移行する令和5年度以降の来園者動向に注意が必要である。

○咲くやこの花館

- ・引き続き、内外ともにコロナ感染症予防対応に注意しながら、予防対応、団体人数、イベント等の参加人数に制限など運営管理を行った。
 - ・ウクライナ侵攻により、光熱水費、原材料費の高騰に加え、人件費（労務単価）、物価の上昇による管理費に大きく影響した
 - ・「少ない労力で美しいガーデン」を目指すボランティアリーダー養成講座をプチイングリッシュガーデンで実施。風に揺らぐ宿根草やグラスの美しいガーデンは新たな人気スポットになっている。
- さらに、天王寺動物園の協力により有機物の有効活用も実施

○鶴見緑地パークゴルフ場

- ・入場誘導やコース振分けや入口周辺の滞留を防ぐための担当者を設置するなど、コロナ禍で実施した新しい運営方法は顧客に定着。それにより、待ち時間短縮や混雑緩和での利用者満足度は向上している
- ・自主事業大会（月例、オープンコンペ）や地域自治会のコンペ等は計画通り実施。コアな常連客の客足はほぼ回復し、競技志向の強い顧客要望にも応えられている
- ・今年度も芝生張替え・育成を実施。特に夏場の芝生コンディションについては高い評価をいただいている

○鶴見緑地球技場他4施設

- 【鶴見緑地プール】
- ・昨年度同様に滞留人数の制限、2部入替制を実施
次年度はコロナ前の状況に戻ることも想定し、より多くの利用者の方々に喜んでいただける体制を再構築していきたい
 - ・12月から3月末まで第2期空調設備更新工事により休館。次年度の水温・室内温度安定による利用者満足向上に繋がる事を期待する

【鶴見スポーツセンター】

- ・昨年度よりは大会のコロナキャンセルも少なく、安定した運営ではあったが、1 団体の利用者数の制限はまだまだかけられている事もあり、利用者数の回復までは至らず
- ・次年度は自主事業も含めて利用者増の対策を再考していきたい

【鶴見緑地球技場】

- ・コロナ禍ではあったが主催者・施設側で協力しながら感染防止対策を充分に行うことで、各競技団体による大会が開催できた。
- ・幼児、小学生向けのダンススクールが好調
- ・定例化としたヨガイベントや日頃のスクール生の感謝を込めたソサイチ大会を実施

【鶴見緑地運動場】

- ・不陸整地を実施し、利用環境向上を図った

【鶴見緑地庭球場】

- ・利用者、スタッフともに感染防止対策を行いながらもコロナ前の状況に戻りつつある
新たに 7 番・10 番コートに西側に設置した日除け付きベンチが大好評であった

○陳列館ホール他 2 施設

新型コロナウイルスの影響がある中、利用者様がイベント開催に前向きになってきていた。イベント数も増加していたが、参加者数も増加してきた。施設でできる感染対策を実施（消毒や注意喚起など）して、安心安全に利用いただける施設運営を実施できた。また新規自主事業としてドローン体験会および講習会を実施したことで、新たな利用者層を確保することができた。

○鶴見緑地馬場

昨年度コロナ等の影響により減少した会員数は年度当初 4 月の時点で 360 名であったが、3 月末で 388 名まで増加した。今年度入会者数の対策年度比は 135%と利用者の回復が見られた。年間の利用者数 57,092 人と昨年比 116%、一昨年比約 107%で今年度目標値に対しても 105.3%となり、目標達成することができた。
これらの理由として SNS 広告の活用、ランディングページの構成編集、公式ラインの週 2 回配信など細かな営業集客活動によるものと考えている。

7 次年度に向けた課題と目標

○鶴見緑地パークセンター

- ・30年が経過し、設備の老朽化も激しく、公園の利用者や管理運営に直接影響を及し始めている施設設備の更新に向け、大阪市の関係部署とも連携の強化を図る。
(例) 公園利用者に影響を及ぼすもの(陳列館の空調、公園灯、大池浄化設備など)
公園管理運営に影響を及ぼすもの(園内通信設備、管理棟の空調設備など)
- ・R4年度にオープンした3店舗の連携を強化するべく指定管理者と店舗運営者による会議体を組織し、園内行事の共有と連携強化を図ります。具体的には指定管理者主催イベント参加者への店舗利用割引やイベントでの店舗利用等「公園施設としてのカフェ・飲食店」を印象付けるよう取り組みます。
- ・2025万博開催に併せての連携事業の実施
- ・大芝生の再生
- ・大池の水質浄化
- ・鶴見新山の眺望

○咲くやこの花館

- ・館内植物の適切な維持管理
- ・オンラインを活用した取組みの拡充
- ・ウィズコロナの対策をしながら、コロナ禍で制限されていた講習会やワークショップを企画
- ・対策しながら、講習会、フラワーツアーなどの参加人数を緩和とともにクイズラリーやハンズオン展示の再開
- ・団体向け有料予約制フラワーツアーの検討し、平日の高齢者や園芸クラブ向け団体顧客ニーズに応える
- ・広報の拡充(インバウンドにアプローチする広報先の拡充)

○鶴見緑地パークゴルフ場

- ・コロナ禍で定着した、顧客の滞留を避ける運営方法は継続
- ・安心安全なプレー環境創出のため、利用者目線での障害物や危険個所の改善を随時実施
- ・混雑緩和策の検討。午後入場の促進や顧客ニーズを把握してのコース振分け(Cコースへの誘導)
- ・新規来場者(家族連れ、若年層)へのマナー啓発活動実施
- ・守口市、城東区、旭区等鶴見区以外の近隣エリアへのアプローチ

○鶴見緑地球技場他4施設

【鶴見緑地プール】

- ・滞留制限の無い運営に戻った際の長期待ち時間の発生に対する熱中症対策などの課題を少しでも解消することが近々の課題
ホームページでの待ち時間のご案内も含め、安心してご利用いただける環境を提供する努力を継続していく。

【鶴見スポーツセンター】

- ・今年度も卓球台の入替等の備品の更新も利用者のお声を反映させながら運営にあたったが、次年度も他の種目も含めて備品の更新を進め、利用の充実を図る
- ・床の老朽化に伴い、今まで以上に細心の注意を払いながら、メンテナンスを実施していかなければならない

【鶴見緑地球技場】

- ・球技場のみに留まらず第2球技場を活用し、サッカーイベント(ソサイチ大会)などを開催
- ・公式大会以外での利用(運動会等)ができることの認知度が未だに低いため、今後も継続して広報を実施
- ・より多くの方に施設を利用いただけるよう時代に沿った広報(SNS、施設HP)を継続。

【鶴見緑地庭球場】

- ・レンタルコート、スクール事業共に、より多くの方に利用いただけるようコートを維持管理し、スクールのクラス数、コーチングスタッフの補充、SNSなどを活用し利用者を取り戻していく

○陳列館ホール他2施設

新型コロナウイルスの影響が薄れていく中で各イベントの実施方法も変わってきている。感染拡大の心配は少なくなっているが、多くの方が集まるイベントを実施する施設としてできる感染対策を実施し安心安全に利用いただけることを継続していく。
新規事業として実施したドローン体験及び講習会を周知徹底して、新たな顧客の獲得につなげていきたい。

○鶴見緑地馬場

- ・体験乗馬や乗馬教室にテーマやキャンペーンを設けて宣伝、集客活動を積極的に行い、今年度減少した会員数を増やす。
- ・予約枠を拡大し、利用者が利用しやすい時間帯や曜日の受け入れ枠での営業を増やす。
- ・ひき馬の利用限定人数を増やし、シーズン時のひき馬利用者の利用枠を拡大する。
- ・馬匹飼養によって出る堆肥を農家等、畑などの施設へ有効利用をしてもらうために提供していく。
- ・来園者や一般市民への馬との時間と空間をより多く提供するため、外部出張イベントや大規模なイベント、講習会を実施していく。
- ・施設老朽化による不具合の改善をおこなう。
- ・利用者からの再開要望の多い外乗ツアーイベントの復活。
- ・SNS、ホームページ、公式LINEによる施設の一般周知を積極的に行う。

8 その他特記事項

○鶴見緑地パークセンター

大規模な設備更新については、指定管理者側からも提案をするとともに、単なるアイデア出しとならないよう、実効性のある協議を重ねたい。

○咲くやこの花館

- ・長寿命化の大規模修繕実施に伴う、利用制限や管理運営上の調整が必要
- ・大屋根改修に伴い、植物展示室内の全通路に養生通路屋根仮設物が設置され、景観的に大きく影響する為、事前に周知が必要となる。また、入館者数や入館料収入に影響することが懸念される
- ・引き続き老朽化に伴う故障や不具合事項の発生が懸念される為、状況に応じて対応していく必要がある

○陳列館ホール他2施設

- ・陳列館ホールの空調設備については、今夏にも利用者に直接影響が出る可能性が高く、至急更新されたい。
- ・水の館の地盤沈下が顕著になってきている。平面にする修繕工事が必要になる。
- ・付属展示場入口の起伏の勾配がきつく入出庫車の底をすることがある。対応が必要。

○鶴見緑地馬場

経年による馬場砂の流出、地盤沈下等による馬場の起伏を平面に整地する修繕工事が必要。
乗馬センター、厩舎等建物が築30年経過しているため、雨漏りや不具合が多数発生しているため、修繕工事が必要。
屋内馬場の自火報受信機に不具合発生がしており、自火報システムの機器自体が古く部品製造が終了しているため、機器一式の更新が必要。

9 別紙

- ・【別紙】 3-5-2 修繕実施状況
- ・【別紙】 4-3-1 施設の利用状況
- ・【別紙】 4-4-1 魅力向上事業実施状況
- ・【別紙】 4-4-2 自主事業実施状況
- ・【別紙】 4-5-3 ふらっとフォーム組織構成員
- ・【別紙】 5-1 収支総括表
- ・【別紙】 5-3 収支明細書